(9) 日本国特許庁 (JP)

の特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭56—10180

MInt. Cl.3 C 07 D 277/42 A 61 K 31/425 識別記号 ABX

ADN

庁内整理番号 7306-4C

43公開 昭和56年(1981)2月2日

発明の数 17 審査請求 未請求

C 07 D 277/18 417/12 #(C 07 D 417/12 277/00 7306-4C

6365-4C

×

(全58頁)

匈チアソリン誘導体およびそれらの製造法

317/00)

创特

願 昭55--91605

22出

顧 昭55(1980)7月3日

優先権主張 ②1979年7月3日③西ドイツ

(DE) @P2926771.8

②発明者 ハンス-ヨーヒエン・ラング

西ドイツ国ホフハイムアムタウ

ヌス・リユーデスハイ・マーシ ユトラーセ7番

の出願 人

ヘキスト・アクチーエンゲゼル

西ドイツ国フランクフルト・ア ム・マイン(番地なし)

100代 理 人 弁理士 山下白

最終頁に続く

2.条許請求の範囲

(ただし式中、R1 は 01~08 のアルキル 8 歯の炎素原子を有するシクロアルキルまた 意味し、 R2、R5 かよび R4 は水無、ヘログン それぞれり~4隻の炭素原子を有するアルキ

を意味し、Rf は水素または1~6個の炭 子を有するアルキルを意味し、R⁷は水果、 12個の設業原子を有するシタロアルキル、 リル、フェニルエテルまたはペンジル基 はメトキシを意味する)を意味するか、また は Ré シよび R⁷ は約合して合計 8 便の炭業原 子を有ける場合により枝分かれしたアルキレ 昔を形成するがその場合1個のメチシン薬 は1個の政策原子または1個のドッメテル基 ハロゲンせたは1~3個の決象原子を有 するアルキルを意味する〕のチアゾリン前導 体ならびに裏職学的に許容しうる限とのそれ 6の厳付加塩。

2) 4~(4-クロロ-5-ジメナルヌルフナ モイルフエニル)-5-メナル-2-フェニ ルイミノ-4-ナアゾリン。

Λ

- 8) 4~(4~クロロー3~ジェナルスルファ モイルフエニル)-5~メナル-2-フェニ ルイミノ~4~ナアゾリン。
- 5) 4~(4~クロロー5-ジメテルヌルファ モイルフエエル)~5-メテル~2~(2~ メテルフエエルイ(ノ)~4~テアゾリン。
- 4) 4-(4-クロロー5-ジェテルスルファ モイルフエニル) - 5'-メテル-2-(2,4 ージメテルフエニルーイ(ノ) - 4-テアゾ リン。
- 7) 4-(2-タロロー5-ジメテルスルファ

意味を有し、8 位 ハログンまたは R 4 R 7 H (ただし吹中、 R 4 かよび R 7 位 上記に示された意味を有する)を表わし、そして X 位脱離 高である)の化合物を総合反応の条件下で一致文

(ただし吹中、R1~R4 は上配に示された意味 を有する)のテオ原衆と反応させ、そしてつ ぎに 8 がハロケンを扱わす場合には得られた

(ただし吹中、R¹、R²、R³、R⁴、R³かよびY は吹】に対して示された意味を有し、そして

- s -

特開時56- 10180(2) モイルフェニル) - 5 - メテル - 2 - フェニ ルイミノ - 4 - テアソリン。

- 9) 4 ~ (4 ~ クロロ ~ 5 ~ ジメナルスルファ モイルフエニル) ~ 2 ~ (4 ~ メトキシフェ ニルイミノ) ~ 5 ~ メテル ~ 4 ~ テアゾリン。
- 10) 4~(4~クロローδ~×ルフアモイルフェニル)~5~メチルー2~フェニルイミノ
- (11) 前記祭許請求の範囲第1項記載の化台物を 製造するにあたり、a)一般式1

【ただし女中・25 かよび?は上配に示された

B はハロダンを扱わす)の化合物を一般式 B NR 4R 7(九だし式中、 R 4 シよび R 7 は上配化 示された意味を有する)のアミンと及応させ るか、または b)一般女育

(ただし女中、 R¹~R⁷ かよび Y は上記に示された意味を有する)の化合物から水を解裂させるか、または o)― 飲式 V

の化合物を一般式質

(ただし吹中、 11~137 は上記に示された意味を有し、そして 121 は脱離 あである)の化合物と反応させるか、または 4 次 V の化合物をカルボジイイド質

(ただし式中、 R1~R4 は上記に示された意味 を有する)と反応させるか、または e>─数式 ほ

(元だし式中、 AT-AB は上記に示された意味を有する)の化合物と反応させ、そして得られた反応生成物を加水分解かよび脱でであるに、そして場合により。)法~1)法でおかに、 AT は水素を意味する)の化合物を通常のの大きな、 AT は水素を意味する)の化合物を通常のクランにない、 AT は水素を意味する。が、 AT は水素を意味する。が、 AT は水素を変化して、 AT は水素を変化して、 AT は水素を変化して、 AT は水素を変化して、 AT は水素を変化して、 AT は、 AT

12) 式下

特別的56-10180(3) (ただし式中、RIMR7かよびまは上記に示された意味を有し、そして Had は塩素または臭素を扱わす)の化合物を微化剤で処理するか、またはよ)一般式豆

(ただし式中、R4 かよび R7 は水果を扱わらず、そしてII は果然かよび灰果を扱わらないがそれ以外には上配の意味を有し、そして Ma Br - 高を扱わす)の化台をモー設式 X

(ただし吹中、 R1~R7 かよび Y は式 | に対し て記載された意味を有する)の化台物ならび にそれらの酸付加塩。

13) 一般武皇

(ただし吹中、R1~R5 かよび Y は式 I 化対して記載された意味を有し、そして Z はハログンを扱わす)の化合物を6 びにそれ6の取付加速。

-10-

19

(ただし吹中、 R1~R5 かよび I は吹 J に対して記載された意味を有し、 R は R4 または R7 の意味を有し、そして A は アルカリ 会員または アルカリ土間会員の防ィオンを意味する) の化合物。

- 15) 前記等許請求の範囲無1項記載の化合物からなるか、またはそれを含有する血管リボ蛋白スペクトルに及ぼす作用を有する薬学的製剤。
- 16) 前配券許請求の範囲集1項記載の化合物を 場合により果学的担体シよび/または安定制

 $^{\circ}R^{2}$ 、 R^{3} および R^{4} は水果、ハログン、それぞれ 1~4個の良業原子を有するアルキルまたはブ ・ルコキシ、メテレンジオキシ、エテレンジオキ シレジメテルーまたはジエテルアもノ、トリフ ルオロメテルを意味し、RS は水果または1~5 個の炭素原子を有するア火キルを意味し、スダは 水果または1~6個の炭素原子を有するアルキ ルを意味し、R7 は水素、1~12個の炭素原子 を有するアルキル、5~12個の炭素原子を有 するシクロアルキル、アリル、フェニルエチル またはペンツル基 R⁸ OB₂-(ただし女中、 R⁸ かよび R⁷ は同一せたは異なりて水果、メテ ル、塩素またはメトキシを意味する)を意味す るか、または Ré および R⁷ は紹合して台計 8 億 の炭素原子を有する場合により枝分かれしたナ ルキレン領を形成するがその場合1個のメテレ ン高は1個の世界原子で元は1個のメーメテル

特開昭56- 10180 (4)

とともに治療目的に対して適当な適用形態に することを特徴とする、血清リポ妥白スペク トルに影響を及ぼす薬学的製剤の製造伝。

17) 点情りが要白スペクトルに影響を及ぼすための前配等許額求の範囲第1項記載の化台物の使用。

5.発明の幹細な説明

本発明はそのままでか、またはそれらの展題 学的に許容しうる酸付加塩の形で有用な裏題学 的特性を有し、それ故に展集品として通過であ る一般式 1

【ただし式中、R¹ は 01∼Cg のアルキル、 3 ~ 8 個の投票原子を有するシクロアルキルまたは 3 ~ 4 個の投票原子を有するアルケニルを意味し、

-12-

高で世後されることができ、そしてミは水業、 ハログンまたは1~3個の次素原子を有するア ルキルを意味する〕の化合物に関する。

さらに本発明は一般式!の化台物の製造法に 関するものであり、それは a) 一般式!

(ただし式中、R6 およびでは上記に示された意味を有し、 B はハログンまたは R⁴R⁷N (ただし 式中、 R⁶ および R⁷ は上記に示された意味を有 する)を表わし、そしてまは脱種基だとえはハログン、 OB₈80₂-0-であ る)の化台物を総台及応の条件下で一致式品

-636-

(ただし式中、R1~R4 は上記に示された意味を 清する)のチオ原葉と反応させ、そしてつぎに ながハロゲンを変わす場合には得られた式草

Ø

しただし吹中、R1、R2、R3、R4、R6かよびIは 吹 | に対して示された意味を有し、そしてるは ハログンを訳わす)の化合物を一紋式 BKR6R7 (ただし吹中、R6 かよび R7 は上配に示された 意味を有する)のでもンと反応させるか、また

(ただし式中、 R1~R4 は上記に示された意味を 有する)と反応させるか、または ●)→ 飲式情

(ただし式中、 $\mathbb{R}^{1} \sim \mathbb{R}^{7}$ シェびェは上配化示され、 た意味を有し、そして \mathbb{R}^{4} とは塩素または臭素を 扱わす)の化台物を硬化剤で処理するか、また は $\mathbf{1}$)一般文章

(ただし女中、 Rf シェび R7 は水果を表わらず、 そして T は臭素シェび灰素を扱わらないがそれ 特爾昭56- 10180(5)

(ただし式中、R1~R7 かよび Y は上配化示された意味を有する)の化合物から水を設施するか、または。)--- 数式 V

の化台物を一般決罚

(ただし吹中、 R1~R7 は上記に示された意味を有し、そして I'(以脱離あたとえばハログン、メトサレーまたはメテルテオである) の化合物と 仮応させるか、または 4 次 V の化合物をカルポ ジイミド質

-16-

以外では上記の意味を有し、そしてMはリチウムをたはMgBr基を扱わす)の化分物を一致文)

(ただし丈中、R1~R5 は上記に示された意味を有する)の化合物と反応させ、そして得られた反応生成物を加水分解かよび脱水反応に付し、そして場合により a)法~ z)法でおられた一般式] (ただし丈中、R4 かよび/または R7 は水果を意味する)の化合物を通常のアルヤル化により R4 かよび/または R7 かもう一つの上記に示された意味を有する化合物に変換し、そして場合により得られた式! の化合物を一般式 B-A の有機酸または無機限で処理してそれらの限付加塩に変換するかまたは得られた一般式! の化合

-16-

物の様を堪乗で処理して式『を有する遊離の株 基性化分物に変換することを特徴とする。

無機数 B-A としてはたとえばハログン化水素 取たとえば塩酸かよび臭化水素飲ならびに保険、 角酸およびアセドスルホン酸(スルファモン酸) があげられる。

有後限 B-A としてはたとえばメタンスルホン 酸、エタンスルホン酸、ペンゼンスルホン酸か よびp - トルエンスルホン酸かあげられる。

女『タよび草の化合物は新規である。 したか つて本発明はなら代式『

(ただし式中、 R¹~R⁵ および T は式 | 化対して 示された意味を有する)の化台物またはそれら

形のうちのただーラが示される。

a)に示された方法は有利には化合物 1 をチオ 尿素 10 と 1:1~1:1.5のモル比で反応させるよ うにして行なわれる。チオ尿素を大過期に使用 しても一般的には疲惫な利益は得られない。

その反応は有利には不信性な極性有機器線丸とえばジメテルホルムアミド、ジメテルアセトアミド、エテレングリコールモノーを定せまた、サングリコールサテル中で行なわれ、特に有利には低性の強いプロトン性器線丸とした、インプロペノール、ドスノール、「クローンを受ける」と、100~180℃の機能を発展した。またその反応は器線を使用せずに反応機能を使用せずに反応機能をある。またその反応は器線を使用せずに反応機能を使用せずに反応機能をある。とにより行なりこともできる。

排開昭56- 10180(6) の限付加塩に関する。それらは一般式1の化合

物を製造する際の一次生成物として適当で る。

さらに本発明は一般大豆

(ただし吹中、 R¹~R⁵ およびまは式 | 化対して 示された意味を有し、そして 2 はハロゲンを扱 わす)の化分物ならびにそれらの酸付加塩に関 するものであり、それらは a 次により一般式 I の化合物を製造する顔の中間生成物として使用 することができる。

おおに本発明による次】の化台物はそれらの 可能な異性体構造で存在することができるが、 とこでは簡単にするために各物質の可能な異性

- * o -

態族を使用する駅には60~150℃の好ましい機 変範部で及応が行なわれる。

反応時間は指線かよび適用される反応値度に 強く依存してかり、一般的には15分間ないし 24時間である。本発明による化合物「に対す る量的な反応の経過は、有利にはシリカゲルナ レート上での背層タロマトグラフィーにより追 跡される。

本発明による化合物」はしばしは無額性のために反応の過程でか適可能な酸付加塩の形で化酸するが、化酸しない場合には磨膜を蒸発させ、その酸に場合により適当なな酸剤たとえば酢酸エステル、ジェテルエーテル、フォーエーリルをその後で低加して収率を高めることができる。

一般女 I にかいてよがハログン好ましく仕場業を意味する場合には、得られた女 I の化合物

- 2 2 -

モアンモニアまたはアミンHYR⁶R⁷と反応させる ことにより式』の化合物が得られる。その既に アンモニアかよびアミンの水性精軟ならび化過 胸の液体アンモニアまたは純粋なアミンを使用 することができ、 後者の場合には過剰の アンモ ニアもたはアミンは同時に希望として作用する。 その反応は同様に有機器線元とえばジメテルホ ルムア もド、 ジメテルアセトア もド、 ジメテル スルホキシド、ジオキサン、テトラヒドロフラ ン、ジエテレングリコール・ヴォテルエーテル 中で行なうことができ、特殊な方法にかいては もちろんり~4年の炭素原子を有する低級アル コールたとえばメメノール、ユメノールまたは インプロペノールが通している。スルホクロリ ド夏をスルホンナミド」に安美するためにな、 2 モルの補助塩基の存在下に1モルのテンモニ アまたはアミンが悲愴的に必要である。従つて

-=s-

谷には同様に別の希線を加えることなく反応線を含として役立つ。その反応は発熱的に進行するして有利には冷却し、一3.5°~+10.0℃、好きしくは十1.0℃~+6.0℃の混成で操作を行なり。反応時間は少なくとも5.0分を投し、そのできたな反応を中止することが必要な利益とも2日後には反応を中止することがあるの形式をついるのである。大変にはつぎのように行なりのが有利である。すなりを特徴を機能したの分離していれてある。そのようにして製造された化合物である。そのようにして製造された化合物である。そのようにして製造された化合物である。できる限りppを7.5~8.5 に関節すべきである。

式 夏の化合物 は武 型

特開昭56- 10180(7) スルボクロリド並1モルめたり少なくともるモ ルのアンモニアまたはアミンを使用してその反 応を行なうことができる。との反応にかいては 大通期のアミンを使用するとともできるが、ス タロリドリモルに対してアンモニアを元は アセンセ5~7モル使用するのが有利である。 精助塩基の存在下に換作する場合には1モルま たは2モルのアンモニアまたはアミンを用いて 行なうこともでき、その場合には約1~6モル 抵重の構助塩 新が使用される。 植助塩 あとして な無機かよび有機の水酸化物、炭酸塩かよび炭 歌水素塩 ならびに無機かよび有機の脊膜の進剤 彼が適当であり、その数すべての場合に第3級 **ミンたとえばトリエテルアミン、トリーュー ルアミン、メテルージショロヘキシルアミ**

粉である。第3級アインは過剰に使用される場

SSO₂
OH R⁵
R⁴
N
R⁵
R⁵

(ただし式中、 R1~R5 、 X 、 X かよび 2 は式 II に示された意味を有する)の化合物またはその 値から水を脱離するととにより得られる。

b)法に示された条件により操作する場合には、 好ましくは水酢酸中でか、または水との共体に より悪質される相様たとえばメチレンクロリド、 クロロホルム、ジクロロエタン、クロロベンゼ ン、ユトロベンゼン、ユトロメタン、トルエン またはキシレン中で行なわれ、そして反応の缺 に生成した水を定量するのが適当である。有利 にはその反応は体験している相称中で行なわれ る。化合物質は化合物類を100~250で好まし

- * 6 -

特開昭56- 101B0(8)

くは 150~220℃の保度で無器線下に加熱する ととにより毎に有利に得られる。好ましくは進 気下で急速に省去するか、または高度英空下で 乾燥剤を使用するととにより助けになる総合水 を飲去するのが通過である。

式回の化合物またはその塩は同様にアニリン 誘導体 XB

からそれ自体既知の方法でジアゾ化し、つぎに メールワイン (Meerwein)反応を行なうことによ り待られる。化合物X階はアミノケトンXIV

一般式 I の化合物は文献に記載された数種の方法に I り得ることができる(たとえばドイッ 特許出版公路第2456265号公報参照)。

(ただし吹中、『かよびB⁶は上記に示された意味を有し、そして『は水魚を扱わす)またはその限付加塩から好きしくは元族状臭魚または塩魚を用いてハログン化し、つぎにハログノケトンXF(ただし吹中、『は塩魚または臭魚を意味する)を a) 法の反応条件下で式目のチャ尿素と反応させることにより製造することができる。

使用されるナオ炭素型に跨しては大部分文献 に記載されている物質が問題になる。それらは 既知の方法でアインをイソチオシアネート、二 欲化炭素またはチオホスゲンと反応させること により製造される (Houben-Wey2 氏着 [Methoden der organischen Ohenie] 第9号第584頁第 4 節 1955年参照]。

- 8 8 -

の需要との混合物を使用するのも有利である。

触媒としては無根または有根のプロトン散たとえば複数、破験、無酸、メタンスルホン散、トルエンスルホン酸、溶媒として上記だ示された近初波カルボン酸、芳香族カルボン酸たとえばサリテル酸または安息香酸を使用することができる。化分物質の脱水は原則としては危機を使用せずに、そしてまた溶媒を使用せずに行なりことができる。

その及応は 0°~200℃の温度範囲で行なわれるか、その場合より低い態度では反応時間が長引き、そしてより高い温度ではまずます副生成物を生成する危険性が生じる。好ましくは50°~150℃で操作するが、その場合排除しているメタノール、エタノール、プロペノールまたは水酢酸中で反応を行をうのが特に有利である。反応の量的な進行状態はシリカグルのプレート

- s o -

上での書層 タロマトグラフィーで追除するのが 進当で る。

۸

その反応処分物は有利には。A法に記載されたのと同様の方法で後処理される。

- 3 1 -

たポジイスドと1:1のモル比で及応させる。 その反応は0°~40で好ましくは10°~50での 個度範囲で行なわれる。好い発熱反応がかさま つた後に20°~40でで約10~20時間機抑する。 何容質のプロトン性相談好ましくはメタノール、 エタノール、プロパノール、イソプロパノール、 ローブタノール、氷酢酸または水、ならびに上 配の相談の混合物を加えたのちら0°~140での 過度できらに2~70時間加強する。反応の 通は適当にはシリカグルのプレート上での薄層 クロマトグラフィーにより追跡される。

○版および d 版化かいて使用される 次 V の化 台物は、文献既知の方法により製造することが できる(たとえばドイン 特許出級公別 無2436265 号公根参照)。 同様化一般文質かよび 頃の化台 物の製造も文献化配収されている [たとえば Chem. Ber. 無 9 7 巻第 1 2 3 2 頁 (1 9 6 4 年) 、

- 3 3 -

特開昭56- 10180(9) で式りの化合物と反応させる。

その反応は有利には 0 ~ 8 0 で好ましくは15 ~ 4 0 でで行をわれ、そして発動反応がかさまったのちに実 I の化合物の生成が完飾する。反応の経過は 60°~1 4 0 での傷度に加傷する。反応の経過は マトグラフィーにより逸跡される。反応応時間は マトグラフィーにより逸跡される。反応時間は 5 ~ 6 0 時間である。特にスルファモイル 基代 が 大 な で ある の に 加えて か さ 高 物 で ま な な な な ま び R⁷ か な で ある の に 加えて か さ 高 物 で な な な な な な ア か を 有 す る 化 合物 Y は と の 反応に 対 し て 特 に 達 し て が 証 明 さ れ た 。

4)被を実施するためには文 V のメルカプトケトンを無水の不信性な磁性器線たとえば酢酸メテルエステル、酢酸エテルエステル、ジオキサンまたはテトラヒドロフラン中で一般式幅のカ

- 5 4 -

Bull.Ohem.Soc.Jap.第46番第1765頁(1973年)、Angew.Chem. 第74巻第214頁(1962年)、全よびBull.Ecc.Ohim.Jap.第38巻第1806頁(1965年)参照されたい)。

●) 法により一般文優の化台物を適当な酸化剤
好きしくは否性二酸化マンガンで処理して式!
の化台物に変換する。 静族としては好きしいが、
クロロがン化炭化水素たとえばメチャン、 毎にのする
しくはアセトニトリルまたは上配の密線のアセー
トコトリルとの免台物が使用される。 0°~40
たがましくは 20°~30℃の強度範囲で 10~60
時間反応を完結させるために同答量のプロトン性常
反応を完結させるために同答量のプロトンは常
によくばメタノール、 ブタノール または氷

-34-

時間加熱する。:

•

ドイツ特許出版公開第2456265号公報に記載されたようにして一般式 XV

(元だし式中、最換器を、でおよび R5~R7 は上配の意味を有する)の化合物を一般大量のテオ 尿素と反応させることにより一般式質の化合物 が首尾よく得られる。

ま)伝により一般式取(ただし式中、Yは具象 または灰葉を表わるず、そしてR6かよびR7は 水銀とは異なる)の化合物を式Xの化合物と反 応させる。化合物取かよびXは有利には1:1 ~1:1.5のモル比で、有機金属の反応に対して 進信使用される不信性な無水の唇媒好をしくは テトラとドロフラン中で、そして-30°~+60℃

出量公熟第2456265号公報參照》。

式 X の化台物はたとえば既知の方法でα − ハ ログノカルボン酸エステル XVI

(ただし式中、Bは OR®(ただし式中、R® は好ましくはフェニルまたは低級アルサルたとえばメテルまたはエテルを意味する)であり、R® かよびまは上記の意味を有する〕を一般式目のテオ原果と反応させることにより得られる。ローハログノカルボン酸(BはORである)かよびαーハログノカルボン酸タロリド(Bは塩素である)も同様に適当である。

女」の化台物は適当な和様中で文 B-A の酸と 可逆的に反応させることができる。その場合酸 が液体であるか、または本質的に 6 0 で以上の 触点を有しない限りそして副反応が生起しない

化台物はならびにそれらの一次生成物の製造 は文献に記載されている(たとえばドイツ特許

つぎにD法に見つて処理する。

- 3 6 -

級り、化合物.]を好せしくは 0°~6 0℃の温度で 純粋な獣に加えるととかできる。しかしなから 有利には磐線大とえば水さたは有機器線(九と えばジオキサン、テトラヒドロフラン、エーテ ル、ナルキル部分に1~4僕の炭洙原子を有す る酢酸の低級アルキルエステル、アセトニトリ ル、ユトロメタン、アセトン、メテルーエテル - ケトンなど)中で操作され、その場合!~4 偏の炭素原子を有する低級アルコールおよび 2 ~ 4 信の世景原子を有するカルボン酸が特に遊 当であることが示される。その際に化せ物し! モルもたり酸豆-4.1~1.5モルを使用するが、 しかし敵を大量に使用することもできる。通当 だは 0°~120℃の傷度で、好せしくは 10~60 での温度で操作される。その反応は進度に発熱 的である。

水性器板中で操作する場合、一般的に酸 H~A

- 57 →

を加えると直ちに化合物」が相解し、そしてどくされた対応する銀行加化合物が比較してくる。相談のままである場合には水を注意深く蒸発させることにより好ましくは凍結で使により不発明の塩を単離するのが通路である。有機能は中で後作する場合にはそれぞれの最下-Aを加えることによりしばしば酸付加塩が維着性のためにた殴する。相談のままである場合には、場合により前もつて機路したのち遊出を比較別を用いて機付加化合物を比較せしめる。此限別としては同様の目的での)法に記載された相談が適当である。

様付加生成物はまた極めて高純能で極めてしばしば粘稠な加状物または無定形のガラス機生成物の形で化設する。とれらの無足形生成物はしば、しば、しば有機滑縄で処理して場合により40°~80℃に加速するととにより結晶化せしめられ

— 3 B —

ウム、ナトリウム、カリウム、カルシウムまた はペリウム、投版協または投版水素塩たとえば 投版ナトリウム、投版カリウム、投版水像ナト リウムまたはカリウム、アンモニアかよびアミ ンたとえばトリエテルアミン、ジシタロヘキシ ルアミン、ピペリジン、メテルージシタロヘキ。 シルアミンの相似があげられる。

水性線質中で操作する額には避難の塩基性化 台物] が単常性のために比較し、そして严遠す るかまたは有機器線好ましくは酢酸エチルエス テルで抽出するととにより分離し且つ単能する とかできる。有機の反応線質としては特殊な カ法では1~4個の検索原子を有する低級アル コール好ましくはメチノールかよびエタノール が適しているが、また酢酸エステル、ジエテル エーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサン、 ジエチレングリコールジメテルエーテル、ジ 特間856~ 10180(II) る。結晶化のための音線としては特にアルキル部分に1~4個の改業原子を有する酢酸の位数アルキルエステルたとえば酢酸メチルエステル、酢酸コープテルエステル、酢酸コープテルエステル、ならびに低級ジアルキルケトンたとえばアモトンまたはメチルーエテルーケトン、低級ジアルキルエーテルたとえばジェテルエーテル、マイソアルエーテルまたはジェアル、エクノールを通じてある場合には低級アルールをとえばメタノール、エクノールを通じてはメクロペノールをたけ、アクノールを通じて

上記の取付加生成物は適当な器線中で塩蓄で 処理することにより駅プロトン化して一般式 | の化合物に変換することができる。塩基として はたとえば無機の水酸化物元とえば水酸化リテ

-40-

テルホルムアミドなども使用することができる。 化台物1への反応は自然に生起する。その反応 は一3.5°~100で好きしくは0°~60でで行なわ れる。水と機和しうる有機器級を使用した場合 には、場合により反応低台物を前もつて機器し たのちに水を加えることにより吹1の避難塩基 を沈設させる。水と機和しない距線を使用する 場合にはつぎのように操作するのが有利である。 すなわちその反応混合物を反応させたのちに水 洗し、そして場合により前もつて乾燥したのち に有機能線を確なせる。

式 I (ただし女中、 R⁶ かよび/または R⁷ は 水素を意味する)の化合物に少なくとも 1 モル の充分に強い塩基を作用させるとスルホンフォ ド新が脱プロトン化して一般式 XM



-41-

(ただし式中、 A はアルカリ 金属またはアルカリ土銀金属の除イオンであり、 R1-R5 かよびまは上配の意味を有し、そして R は R 4 または R 7 の意味を有する)の塩が得られる。

進基としてはアルカリ金属かよびアルカリ土 類金属の水酸化物好をしくは水酸化ナトリウム かよび水酸化カリウム、アルカリ金属かよびア ルカリ土類金属のアルコレート(ナトリウムメ テレートかよびナトリウムエチレート)、水栗 化ナトリウム、ナトリウムメテルスルブイエル メテドなどを使用するととができる。

相談としては水または極性有限要似たとえば メタノール、エタノール、インプロパノール、

は上記器級の進合物からなる二相系属合物中で 操作される。また有利には相関移動放ୟをとえ はテトラーカープテルアンモニウムクロリド、 ペンジルートリエテルアンモニウムクロリド、 ペンジルツメテルーテトラデシルアンモニウムク ロリド、チトラーカープテルホスホニウムク ロリド、シシクロへ中シルー(18)クラウンー 6 を使用することもできる。一20°~+100℃好ま しくは + 10~40℃の鑑度 題田で反応が行なわれ、 その誤反応の経過は薄層クロマトグラフィーに より追断される。一数式 R-X (ただし文中、 R は R6 または R7 の意味を 有し、そして X はたと えば臭無、塩素、 反禁、 -0-802-0R 、-0-802-0H3、 -0-802-(1)ので用される。

有利にははXMは上記の方法にかいて引続いて 単能するととなく化合物』に上記に示された塩 拍開昭56~10180(17)
n - ブァノール、ジメチルホルムア(ド、ジメ
テルスルホキンド、ジエテレングリコールージ
メテルエーテル、アセトニトリルが使用される。
1 モルの適当な酸 B-A の称加により本発明の
化合物 1 が再生され、その場合像としてアンモニウム塩を使用することもできる。

とれらの可逆的な限・維 基反応は化合物 1 の 精製に利用できる。 さらに複雑はメルホンナミ ド 基を アルキル化反応に付して対応する変換された式 1 の化合物を製造するために使用すると とができる。

アルキル化反応の酸化は水を密線として使用するととができる。しかしなから好ましくは上記化示された極性有機器媒中で、特化有利には水かとび水と緩和しない有機組たとえばトルエン、ペンゼン、キシレン、メテレンクロリド、
クロロホルム、四塩化炭素、酢酸エステルまた

- + + -

表を作用させることにより反応傷合物中で生成 され、その後でかまたは同時に上配のアルキル 化剤 R-X が加えられる。

式 X7

(ただし女中、 R1~R5 および又は丈 I 化示された意味を有し、R は R6 または R7 の意味を有し、そして A はアルカリ 金属またはアルカリ土 無金属の勝イオンを意味する)の化合物は斬災である。 使つて本発明はまたこれらの化合物にも関係している。それらは丈) (ただし式中、R4 かよび/またはR7 は水果を意味する)の化合物をフルキル化する際の中間生成物として特に適し

- 4 6 -

ている。

本発明による化合物のうちで好ましいのは、 登換基がつぎの表1に記載された意味を有する 一般式1の化合物である。

1

R¹m メテル、エテル、シクロプロピル
R²m 水果、メテル、エテル、臭果、塩果、弗果、 トリフルオロメテル、メトキシ、エトキシ、 -M(OB₃)₂ 、-M(O₂H₃)₂

R⁵⁻⁻ 水栗、メテル、エテル、塩栗 R⁴⁻⁻ 水栗、メテル

R5- 水果

RALE7 - 水果、メテル、エテル(ただしRAシよびR7は同一であつても、または異なつていてもよい)

エーテアゾール級の 2-、5- または 4 位に存在 する臭素、塩素、メテル

- . . -

表 5

(Me = メテル、Et = エチル、Prop = プロピル、
But = ブテル、Pent = ペンチル、 Hex = ヘキッル、 i = イソ、 sek. = 第 2 級、 o = ックロ、 使 換高の前に記載された数字はフェニル高にかける I の位置を扱わし、その場合チアゾール機は 1 位に、そしてスルファモイル高は 5 位に結合 している) 技術昭56~ 10180(13)

等に好ましい化合物としては血液あかつぎの 数2に記載された意味を有するような大1の化 合物があげられる。

2

Ri- メテル、エテル

R2- 水無、メチル、塩素、メトキシ、発素、ト

85- 水果、メチル

R4- 水雪

RB-水量

35、37 ーメナル、エテル

エーテアゾール限の2-、5- または4 - 位化存 ホマス体表

本発明により実施費に記載されたチアゾリン 健等体に加えてつぎの終5 に一括して示された 一般式1 かよび2 の化合物またはそれらの設付 加生成物が得られる。

- 4 4 --

失験								
香号	R1	K5	3,5	R4	R ⁵	R4	R7	¥
1	e-Frop	Ħ	H	R	H	H	Ħ	4-06
2	1-Prop	H	B	Ħ	Ħ	Ħ	H	4-04
3	Me	2 -16	6-14	H	H	. 12	B	4-06
4	Me	5-Ma	5 -14 8	H	B	Ħ	H	4-06
5	Ме	2-140	4-Ma	6-ke	H	Ħ	B	4-C£
6	Et	2-Ma	4-Mo	H	H	H	E	4-06
7	Me .	2-Et	4-2t	R	H	Ħ	H	4-02
8	Me	2-14+	6-at	H	H	Ħ	н	4-02
. 6	Ma	H	H.	Ħ	Bt	H	H	4-ae
10	Mo	2~Br	H	H	R	B	Ħ	4-CL
11	Me	2- 2-	Æ	B	Bri	H	H.	4-CL
12	Me	4-2 .	B	H	H	B	B	4-04
15	Ma	2-160	B	H	16 0	H.	H	4-ce
14	Me	2 -16	H	H	Et	B	H	4-06
15	Me	2-Ma	4-160	Ħ	Me	Ŕ	B	4-06
16	Rt	2-140	4-140	H	Mo	H	H.	4-0£
17	e-Prop	2-Me	4-Ma	H	H	H -	H	4-04
18	Pt.	2-04	В	B .	Ř	. B	н	4-06

- 5 0 -

舞團服 56 -	101R0 (14)	ı

															_		
更數 香号	R ¹	R ²	R ⁸	R4	R ^B	Ré	R7	<u> </u>	美術	R	R?	R ³	<u>R</u> 4 .	R ⁵	R ⁶	<u></u>	<u> </u>
19	<u></u>	2-07,	В	B	Я	H	Ä	4-06	57	I t	2-04	H	, H	H	H	o-Rex	4-CL
20	B t	2-073	н	H	Ħ	H	H	4-02	58	c-Prop	H	H	Ħ	H	H	c-Hax	4-CL
21	Et	2 -16	H	H	H	В	Me	4-0£	59	Иф	2-04	H	H .	Ħ	H	i-Prop	4-06
22	Me	2 -160	4-Mo	H	H	H	Ma .	4-ae	40	Me	2-16	5 -14 0	H	H	B	1-Prop	4-02
25	Me	2- 5 t	4-2t	E	B .	H	Et	4-06	41	Bt.	2 -14	B	H	B	Ħ.	eek.But	4-04
24	Ma	3-00°s	В	B	H	H	Mo	4-04	42	M.	2-02	H	Ħ	Ħ	H	eek But	4-0L
25) Ma	4-7	Ħ	В	Ħ	H	Dt	4-02	45	16	2-No	4-14-	B	H	Ħ	1-But	4-ac
26		4-Dr	R	н	H	H	Me	4-06	44.	Mo	2-Me	4-140	6-Me	H	Ħ	Dt	4-ce
27	o-Prop		H	H	н	н	Me	· 4-04	45	Me	4-7	H	B :	Ħ	H	Bex	4-06
28	c-Prop		Ħ.	H	H	H	l á e	4-04	46	Me	H	B	H	Мę	منا	Ma	4-04
29	Ma	2- Dr	H	н	В	В	Ma .	4-06	47	E t.	ĸ	R	E	` Et	Me	Me	4-06
30	 Ya	2-1/4	4-14		H	E	<u> Ya</u>	4-04	48	Mo	2-Ma	H	H	Et.	Ma	Ме	4-06
51	Ma	2-14-	H	н —	H	Me	Me	4-04	49	Me	2-Ma	4-160	H	Мо	Мо	Me	4-02
-	Mo	2-06	H	н	- H	B .	Bat	4-04	60	Мо	2-04	H	H	Dt	Mo	Ma ·	4-06
52		2-Ma	2 4-14	,	H	н	e- Pro p	4-04	51	14	3-CTF3	H	H	Mo	Me	lás	4-02
55	Me	-	3-14	-	E.	H	0-Prop	-	52	140	2-04	4-160	H	Me	Me	Ma	4-06
. 54	16	2- 1/4			_		0-210p		53	Me	4-Prop	H	H	H	Ma	Me	4-06
35	Mo	4-J	H	B	Ħ	Ä			54	<u></u>	4-But		R.	E.	Me	14a	4-04
56	E t	2-Ma	4-16	H	H	H	o-liex	4-02	. 57		7 2026	-	-	- - ,	-	· - ·	

_ . . .

400	R1	R2	RS	R ⁴	R ⁵	R4	R7	<u>x</u>
55	¥ø.	8-10t	B	Ħ	Ħ	Me	je.	4-ae
54	Ma	5-Prop	B	H	H	Me	Me	4-06
57	Me	5-But	Ħ	Ħ	H	Ma	Me .	4-ce
58	Ma	2- 10 t	4-Et	H	B	Ma	160 .	4-06
59	Ma .	2-44-	5-Me	Ħ	B	Mo	Me.	4-0L
60	₩•	2-Me	6-14a	H	H	Mo	Me	4-02
61	Мę	2 -14 0	5-D:	H	Ħ.	Me	Me	4-ce
62	Me	2-Mp	5-Prop	Ħ	H	Мо	'Mo	4-06
43	¥e	2-Ma	5-1-But	H	H	Me	Me	4-06
64	Me	2-Et	5- 2 c	Ħ	H	Me	Me.	4-06
65	Me	2-Ma	5-Aut	H	B	Мо	Me	4-04
66	¥e	3-5t	4-140	H	B .	Mo	Mo	4-06
67	Ma	3-02	5-2t	B	E	Me	Me	4-06
68	Me	5Br	5-12t	B	B	140	Ma .	4-06
69	Me	5 -2 t	4-0£	H	B	Ma	Me	4-02
70	Me .	3-Et	4Br	H	B	Ma.	*	4-02
71	¥6	2-0£	5-Me	B,	H	. Me	Ме	4-06
72	16	2-CL	5-Rt	E	H	Mo	16	4-0L

突肢 音号 (R¹ R² R⁵ R⁴ R⁵ R⁶ R⁷ T 5-Prop H H Me 4-04 5-But 4-04 4-06 ¥e 2-2-4-06 5-14 4-04 5-1-But H 4-06 5-m 4-06 Me 2-Prop0 5-Et H 4-06 4-0Et 4-06 88 Mo 2-Me 4-140 4-06 4-16 4-04 5-Rt H Me Me 4-QL 90 No 2-ae 4-ae

- 8 4 -

持開始56- 10180(15)

安款	R ⁵	R ²	Ri	R4	R5	R ⁶	<u>R7</u>	<u> </u>	突破 衛号	"R¹	R2	R ⁵	R ⁴	R ⁵	R ⁶	R ⁷	
91	Mo	2-Ma	5-Mo	5-20t	B	Me.	Me	4-04	109	e-Prop	2-14	4-140	E	Ħ	Mo	Ma.	•
92	Mo	2-16-0	5-Me	5 .14 e	Ħ	Me	Me	4-04"	110	о-Ргор	2-04	Ħ	H	B	Ma	Ma.	
93	Mo	2-Ms0	3-Ma	5-10:	B	Me	Мо	4-04	111	oFrop	4-046	H	B	B	16	Мо	
94	340	2-MeO	3-0£	5- X t	B	Ме	Мо	4-06	112	Me	2-44-	4-160	H	Ħ	Mt	Et	
95	Жó	2-M=0	5- 36 0	5-Ma	B) (b)	Ma :	4-ae	115	Me	2-06	B	B	B	Et	Þt	
96	Me	2-1400	5-MeO	5-Bt	H	<u> Ma</u>	Мо	4-0ê	114	Me	2-Er	H	H	¥	Bt	Et:	
. 97	Me	2-Ma0	4-160	5-æ:	Ħ	Me). 	4-04	115	Me	2 -16	6-140	B	H	æt	Et	
98	Mo	2-160	4-140	5-14-	B	140	Ma	4-04	116	Me	5-CT*3	¥	E	B	Dt	Et	
99	Bt	2-140	4-Me	Ħ	Ħ	Me	Me	4-0£	117	Ma	4-078	B	H	B.	Dt	Et	
100	Bt.	2-140	4-GL	H	H	Me	Ma	4-04	118	Me	4-Ma0	Ħ	B	H	E t	D t	
101	Æt	3-co ₅	¥	H	Ħ	Me	Me	4-02	119	Me	4- F	H	H	H	Et	Et '	
102	E t	4-7	B	H	H	Me	M e	4-0£	120	Me	2-Me	4-14a	B .	¥6	Et	Ðt.	
103	Et	2-Et	4-Et	H	Ħ	Ma	Me	4-04	121	Me	R	8	B	B	H	Ħ	
104	Dt	2-cr ₅	2	H	Ħ	Me	Me	4-06	122	369	2-Me	H	B	H	B	H	
105	Et.	4-WDt ₂	Ħ	H	H	Me	Me	4-02	123	Mo	2-04	Ħ	H	H	Ħ	Ħ	
106	Mo	2-cr ₅	E .	H	H	14	144	4-04	124	Ma	2-160	4-Mo	B	Ħ	Ħ	H	
107	Et	4-0Ms	H	H	Ħ,	Ma	Me	4-06	125		2-Ma	6 -140	ĸ	H	B	H	
108	o-Prop	2-Ma	H	H	Ħ	Mo	Me	4-94	126	Mo	4-Me0	Ħ	Ħ	H	H	H .	

— s s

**			•					
番号	R1	H2	RI.	<u>R</u> 4	H5	R	R7	X
127	140	4-7	R	B	H	H	B	4 -2,
128	Me	5-CIF ₅	8	Ħ	Ħ	H	H	4- 2,
129	Me	2-01	6-06	Ħ	H	Me	Me	4-02
150	Me	2-06	4-ae	Ħ	Ħ,	. 140	Ma	4-06
151.	Me	2 -14	Ħ	H	H	Ma	Mo	4-Br
132	¥	2-04	R	H	B	Me	Me	4-Br
155	Ma	2-160	4-16e	Ħ	H	Me	Me	4-2-
154	Me	2-Me	5-140	Ħ	B .	Мо	Me	4-Br
155	Мо -	2-14-	6 -14	R	Ħ	Et	Et	4~Br
156	Me	2-06	6-0e	Ħ	H	Pt	IDt;	4-Br
157	Me	2-0€	6-ae	B	Ħ	Me	Me	4-Br
158	Me	2-160	6-Ma	Ħ	H	Мо	M	4-Br
159	Me	4-Me0	B	H .	H	Me	Ma	4-Br
140	Mo	4-3	H	H	Ħ	Mo	Me	4~Br
141	Me.	25	B	H	Ħ	B	R	4-7
142	Me.	2-0£	Ħ	Ħ	B	Ħ	Я	4- P
143	Mt	2-04	H	B	H	B	H	4-7
144	Me	2-14-	4-160	R	H	B	H	4- y

- 6,7 -

1183B7 5.6 ~	101	OA	(16)
39(E) H () A ~	1 23 1	I X 13	LID)

														排御昭	56-	101	80
英献 春号	R ⁴	R2	Rβ	R4	RS	R4	R7	¥ -	突験 委号	R1	· R2	R ⁵	R ⁴	R ⁶	Ré	R7	
165	No.	Br-	B	R	H.	H	E	4-E	181	¥6	Ħ	B	Ħ	B	Ħ	Ħ	
164	· Ma	2-Ma	4-160	H	H	B	R	4- 11	182	Bt ·	B.	H	Ħ	H	R	Ħ	
165	Et	OE .	H .	Ħ	H	Ħ	Ħ	4-13	165	140	2 -14 6	B	H	H	H	H	
166	E t	Ħ	H	H.	Ħ	H	H	4 -8	184	Me.	2-m:	B	H	H	Ħ	н	
167	o-Prop	Ħ	н	H	H	H	H	4-B	185	Et	2-Ma	8	H	H	Ħ	H	
168	Me .	Ħ	R	Ħ	B	Mo	Mo	4 - 8	186	Mo	2-06	H	Ħ	H	Ħ	Ħ	
169	Me	2-06	R	Ħ	Ħ	Mo	Mo	4-B	187	Mo	2-Br	Ħ	B	H .	Ħ	Ħ	
170	Мо	2-Br	B	H	H	Mo	Me	4-E	188	14 9	2-06	4-160	Ħ	8	Ħ	Ħ	
171	Mo	2-Ma	5-Mo	Я	H	Ma.	Me	4-E	189	E t	2-04	H	Ħ	H	8	Ħ	
172	Me	2 -14 a	4-Ma	Ħ	H	Мо	Me	4-E	190	Mo	4- 16 0	H	B ·	Ħ	B	Ħ	
173	Me .	2 -16 e	6-14-	H	Ħ	Ma	Me	4-H	191)	4-04	H.	H	H	Ħ	Ħ	
174	E t	2-160	4-14e	R	Ħ	Мо	Mo	4-E	192	Mo	4-7	H	H	H .	· 12	Ħ	
175	Me	4-CMa	. н	Ħ	H	Ms	Ме	4-H	. 195	Dt.	4-7	Ħ	H	H	Ħ	H	
176	Me	5-CF3	R	Ħ	Ħ	始	Me	4 -H	194	¥e	3-cop ₃	H	H	Ħ	Ħ	H	
177	Et	2-Ma	H.	H.	Ħ	Me	Mo	4-H	195	Me .	4-CF ₃	Ħ	Ħ	H	"H	, B	
178	o-Prop	2-14-	H	Ħ	H	¥a	Me	4-8	196	14	2-140	4-Me	H	H	H	E	
179	Et:	2-06	H	Ħ,	'B	Мę	14 0	4- <u>11</u>	197	Bt	2-140	4-Ma	H	H	Ħ	且	
180	Me	4-ce	H	H	H.	Me	Me	4-R	198	340	2-Me	3-Ma	Ħ	H	Ħ	B	

粉	Rt	H2	RS	. <u>R</u> 4	R5	R ⁴	R7	Y
199	Ma	2-Ma	6-Ma	Ħ	Ħ	B	H.	4-14
200	Ma	2-02	6-06	H	Ħ	H	H	4-16
201	Ma	H	H	Ħ	Ħ	H	Me	4-150
202	Mo	2-Me	H	Ħ	H	H	Ma	4-140
203	Ma	2-14-	4-14-	B	B	н	Me	4-14-
204	Mo .	2-02	H	H	Ħ	H	Me	4-16
205	Xo	H	Ħ	Ħ	æ	Me	Mo	4-14-
206	Dt	H	Ħ	Ħ	Ħ	Mo	Mo	4-16
207	e-Frop	H	Ħ	Ħ	H	Me .	, Me	4-16
208	Mo	2-M	Ħ	Ħ	H	lás	Me	4-16
209	Me	2-Et	Ħ	H	H	140	Мo	4-16e
210	In.	2-140	H	Ħ	H	Me	140	4-16
211	Me	2-02	H	Ħ	Ħ	140	Me	4-140
212	Me	2-Br	H	Ħ	Ħ	Me	Mo	4-14s
213	Bt	2-ac	H	B	H	Me	Me	4-16
214	o-Prop	2-04	H	н	H	Жo	14	4-14
215	Me	4-100	H	H	H	¥ø.	Me	4-Ma
216	Me	4-06	H	Ħ	H	Me .	Me	4-14-

-648-

特問昭5G~ 10180(17)

美験	Ri	R ²	R ^{\$}	R4	R ^S	Ré	R ⁷	¥
255	<u> </u>	- ·	<u> </u>	H	H	<u> </u>	H	4-1-Prop
233	-	-	4	-	-	-	_	4-1-11Uy
256	Mo	H	H	H	H	Me	Me.	4-1-Prop
257	Me	2-Ma	4-36s	H	B	Ma .	14	4-1- Pro p
258.	Ma	2-0L	H	H	Ħ	Me	Me	4-1-Prop
259	Et	2 -14 e	H	Ħ	H	Mo	Me	4~1~Prop
240	Me	2-Mo	6 -14	H .	R	Me	14 0	4-1-Prop
241	Ma .	2 -Dr	H	Ħ	Ħ	Mo	Ma	2-al
242	Me	5-CL	Ä	Ħ	B	Mo	Me	2-0£
245	Mo	4-0L	H	H	H	Me	Mo	2-01
244	Me	5-CF3	H	R	H	Me	Me	2-04
245	Me	2-₽	R	Ħ	Ħ	Me	Me	2-04
246	Me .	2-140	4-Mp	B	Ħ	Mo	Me	2-0L
247	Mo	2-0£	4-14	H	Ħ	Mo	Me	2-04
248	Me	4-Me0	R	R	н	Mo	Me	2-0£
249	Мо	2-Ma	4-Me0	H	Ħ	Me	Me .	2-04
250	Me	2-04	4-Ma0	H	E	Me	¥4	2- 9 6
251	Mo	5- >	H	K	Ħ	Me	Me	2-ae
252	Ме	4-7	H	B	E	Me	¥e	2-0¢

学 身	R1	R2	R ⁵	R ⁴	R ⁵	R ⁶	R7	<u>*</u>
255	Me	4 -0.	B	B	R	Ma	14	2-04
254	Me.	R	H	H	H	Dt	Et	2-02
255	Et.	H	H	Ħ	R	Et	Et '	2-ai
256	o Prop	H	H	В	H	Mt	Rt	2-04
257	Prop	H	Ħ	B .	B	Et	Bt	2-04
258	Ж о	2-06	н	R	Ħ	Bt ·	Et.	2-06
259	Me .	·4-0£	H	Ħ	H	Dt	E t	2-06
260	Me	2-140	H	B	H	Æt	E t	2-0L
261	Мо	2-Me	4-140	H	H	Et	Et ·	2-04
262	Me	5-cp ₃	H	Ħ	B	Et	Et	2-02
265	Χe	4-Olde	H	H	H ·	Pt	E t	2-04
264	Ио	2-Br	H .	Ħ	E	Et	Et	2-0£
265	Ma .	E	Ħ	H	H	140	Prop	2-06
266	¥e ·	2-CE	B.	H	B	Me	Prop	2-06
267	Me	4-34-0	E	н	B	Ms.	Prop	2-06
268	Me	4-0£	B	Ħ	Ħ	Mo	Prop	2-04
269	14	2-Ma	4-140	H	B	16	Prop	2-06
270	, Ma	2-0L	A ·	E	E	Xb	Me	3-04

- 4 4 -

疾験 卷号	R1	R ²	R ³	R 4	R ^{\$}	R4	R ⁷	T
			_		-			
271	Me	4-160	H	H	H	Me	Me	5-06
272	Mo	4-ce	Ħ	Ħ	B	Mo	Me	3-06
275	Ma	2-Mo	4-16s	Ħ	H	B	Mo	5-CL
274	Me	H	H	R	Ħ,	B	Ma	5-0£
275	¥6	R	H	Ħ	H	Mo	Prop	3-cz
276	Mo	2-04	H	H	н	14	Prop	3-0L
277	Мо	Ħ	H	Ħ	H	Et	Dt	5-0L
278	Et	Ä	Ħ	H	H	Et	Et	5-0£
279	Мо	2-06		Ħ	H	Mt	Rt	5-0L
280	Mp	2 -1/4	4-Ma	H	Ħ	Et	Et	5-0L
284	14-	4-460		12	v	Tê:e-	T+	-

本発明による式』の化合物は有用な股票品であり、血情リポ蛋白に及ぼす塩めて好ましい作用のために優れている。在つてそれらは特に血情リポ蛋白に影響を及ぼすための股票品として使用することができる。従つて本発明はまた式」の化分物かよびそれらの無理学的に許容しう

る塩に基づいた異学的製剤ならびに数果品としてのそれらの使用に関する。

文献には4-フェニル-2,3-ジヒドロチアソリンの海体の会数不振作用、中枢神経対象作用の会数不振作用、中枢神経対象作用をおいて報告されているが表があっている。では、1535号ののでは、1535号のでは、15355号のでは、1535号のでは、1535号のでは、1535号のでは、1535号のでは、1535号のでは、1535号のでは、1535

-66-

- 4 - ナアソリンまたは - ナアソリシンも同様 化文献化記載されているが、それらは毎代和泉 別として記載されている (3.7.0 ragoe, Jr. 氏編 [Diuretic Agente] ACS-Symposium Beries 第85 番集 2 4 章 (1978年) 金無)。

今や本発明による式」の化合物は血液リボ要白に対して低めて強く且つ好ましい作用を示すが、他方上配の支配に配載されたテアプリン鍵 場体は定性的かよび定量的見地から明らかに労 つた作用する生じないか、またはきわめてわず かにそのような作用を有するだけであるという ことは集るくべきととであつた。

動脈硬化性の血管の変化物に短状動脈性心臓 疾患の発生に対して、過能質量白血症は本質的 な危険因子となるというととが一般的に認めら れている。使つてアテローム性動脈硬化的変化 を予防し且つ原避するために、高められた血情 特職昭56- 10180(18)

リポ蛋白を飲少させることは軒に使れた意味を 有する。しかしながらとの場合には特定された **複数の血清り水蛋白が開催になる。なぜならば** 低倍度り水蛋白(1,01,2)かよび複体物度り水蛋白 (VLDL)はアテローム性動脈硬化症の危険因子と たるが、他方高密度 V 水亜白 (RDL) は安秋動脈 性心臓疾患に対して防禦作用を示すからである。 したかつて血管脂肪減少剤は血管中の VLDL - コ レステリンかよび LDL ~ コレステリンを被少さ せるべきであるが、その級 HDL - コレステリン の義変には可能な限り影響を及択さないか、る るいはむしろ高めたオがよい。とこに記載され た本発明による化合物は有用な治療上の特性を 有する。 それらは年に LDL シよび YLDLの 要度を 卵常に低下させるが、一方 HDL 部分の機度を実 質的にわずかに被少させるか、あるいはむしろ 高める。使つてそれらはつぎに記載された飲食

-48--

つぎの扱に記載された化合物の血液リボ蛋白 に及ぼす作用はウイスター系の雄性ラットにかいて試験され、それらはポリエテレングリコー ル400に動揺された上記の化合物で環際プン デにより7日随処理される。さらに指導である ポリエテレンダリコール400だけを含む灼照 静にかいても試験が行なわれ、同様に多くの試験にかいて様準的な血情が助級少剤であるクロフィブレートで処理したラットの一群が使用される。原則として一群あたり10匹の動物が使用され、処理が終血し、それから神られた血管は通常の方法で製造的超速心によりりが要白は超速心によりつぎの密度種類すなわら VLDL 1.006、LDL 1.006~1.04かよび BDL 1.04 ~1.21に分類される。

超速心により単離されたりが蛋白分離から得られたコレステリンはペーリンガー・マンハイム(Boehringer-Mannheim)社の試験を組合せたOROD-PAP 法により金剛集的代例定され、そしてその個は血管1 mi あたりのac 数に絶気される。

- 70-

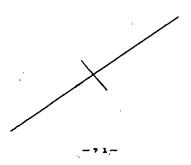
特開昭56- 10180(19)

ŧ.

化合物を用いて7日間経口的処理後のラットにおける血清リボ蛋白含有量の変化

突動例だよ	1日あた	コレステリンの変化が(対策群に対する比較)			
る化台物	り投与量				
	(m/kg)	血液	Ardr	LDL	HDL
実施例 2	100	<u> </u>	-77	-56	– 5
	5 O	– a	-57	-45	- 4 - 2
	10	- 5	-26	-58	- 2
	3	+ 2	+25	-59	+ 9
	1 '	0		-59	+15
製油例 15	50	-12	-18	÷52	. 0
	10	-12	0	-41	15
	5	-14	-15	3 1	– ` 5
	1	+ 7	-56	-14	+15
安施货 19	10	- 8	-41	-55	+ 5
	3	-11	-85	-41	– 2
	1	- 8	-57	-12	– 2
疾絶例 553	5	- 6	-55	-61	+ 4
	1	+ B	 10	-30	+ 4
	0.8	P	-14	-25	- 5
_	0.1	+ 7	-17	-25	, + 8
英施约554	50	-15	-50	-6 C	P
	3	18	2 3	-66	4
	1	+ 5		-45	+ 9
タロフイブ レート	100	-47	-50	 5 δ	-58
_ T 1 _					

下記の表化は処理部化かけるリポ最白 - コレステリンの変化が同様の条件下で行立われた対無
部と比較して示される。表から明らかなように
タロフィブレートは LDL 部分の性性問題変化性
い級少を、そして BDL 部分の強い級少を引起と
すが、一方本発明の新規な化合物はアテローム
性リポ蛋白部分 (VLDL かよび LDL) に対して独
い過れ的な低下作用を及ぼし、そして紡骸作用
を有する BDL 部分に対して本質的に影響を及ぼ
さないか、あるいはむしろ高める。



式1の化合物を含む治療上の製剤としては特 化袋剤、糖衣剤、カプセル剤、魚剤、およびシ ロップ剤があげられる。その酸新規な化台物は 単独でか、または果理学的に許容しうる担体と 逸台して適用するととができる。 経口的適用形 間が好せしい。とのために危性化分物は好まし くはそれ自体既知の物質と混合し、そしてそれ 自体既知の方法で適益な投票形態たとえば祭刑。 毎状カプセル、水性または油性悪傷物または水 住または抽住の器故に調製される。不括住担体 としてはたとえば炎酸マグネシウム、乳糖また はとうもろとし数形が他の物質たとえばステア リン曲マグネシウムの動加のもとに使用される。 その顕製剤は乾燥機粒としてかまたは蓬角膜粒 として向後に製造するととができる。強杖担体 物質または根係としては毎に植物治かよび動物。 他たとえばひまわり他かよび肝値がもげられる。

1日あたりの投与量は約50m~5gである。 集量単位は好せしくは250~500mを含有する。

筋質代謝無害を治療する際には上記の製剤は 通常の売填剤かよび担体に加えて65に抗薬の 圧剤たとえば切分排散剤、レセルピン、ヒドラ ラジン、デアネテジン、αーメテルドーパ、ク ロニジンまたはター交感神経維断剤、または、 高級酸血作用剤、経口的抗糖尿病剤、老人病剤 または血液腫洗品進作用を有する薬剤をも含有 することができる。

本発明による解粋な一般式下の一次生成物は、一般的な場合に本発明による式」の化合物と比較して血情リポ蛋白に対する明らかにさらにおい作用を示すが、しかしながら構造的に変化したチェブリツン師等体(ドイッ特許出版公開公報第2456268号参照)は一部振めて良好な場合和原作用を有する。

つぎの実施例に記載された数点かよび分解点 は補正されていない。 .

- 7 4 -

神爾昭56-10180(20)

実施例 1 4 - (4 - クロロ - 3 - ジメテルス ルフアモイルフエエル) - 3 - メチ ル - 2 - フエエルイミノ - 4 - ナア ブリン臭化水果酸塩

a) 2 - プロモーギークロロー 5' - ジメチルス
ルフアモイルアセトフェノン 68 *(0.02 モル)
かよび 1 - メチルー 5 - フェニルチオ尿素 5 *(0.02 モル) セエタノール 100 mm 中で 1 時間
加熱液する。水酔服 5 0 mm を加え、そしてさ、
らだ 2 ~ 3 時間加熱療液する。水液実空下で移 鉄を留会したのち残留物に ジイソプロピルエーテル、酢酸エステルまたはジェテルエーテルを
加え、そして炉別すると無色の結晶 [m.p. 258 ~ 260 t (分解)] が得られる。

b) 4~(4~タロロ-3~ジメチルスルフア モイルフエニル)-3-メチル~2-フエニル イミノチアゾリジン-4-オール美化水素改塩

-75-

10.19(0.02モル)を氷酢酸 8 0 減中で 2.0分間加熱激液する。冷袋ジイソプロビルエーテル的 150減を加えることにより完全に新品化させ、電銀でさらに 1時間機拌し、そしてデ過すると白色制品 (m.p. 258~260 C(分解)) が待られる。

実施例 2 4 - (4 - クロロ・5 - ジメテルス ルフアモイルフエニル) - 3 - メチ ル - 2 - フエニルイミノ・4 - チア ブリン

a) メタノール 200 mm 4 - (4 - クロロ - 5 - ジメナルスルフアモイルフエニル) - 5 - メナル - 2 - フエニルイミノ - 4 - チアゾリン 央化水素療域 9.8 m (0.02 th) の際機物にトリエテルアミン 10 m を加える。約20~50 でで 5時間接搾したのち候圧下で将業を除去する。残留物を水 100mm で 2時間接搾し、そして結晶

- 7 6 -

を伊別する(m.p.179~181で)。

b) 4~(4~クロロ-3-ジメテルスルツアモイルフェニル)~3-メテル-2-フェニルイミノテアゾリジン-4-エール 8.52 g(0.02 モル)を氷酢酸 100 el中で 5 時間加熱遺洗し、春秋を留去し、そして残留物に水を加えて結晶化せしめる(n.p. 180 t)。

要 前例 3 4 - (4 - タロロ - 3 - ジメチルス ルフアモイルフエニル) - 3 - メチ ル - 2 - フエニルイミノ - 4 - チア ゾリン塩酸塩

- a) 上記の表類化合物は実施例 1a) と同様化して 2,4'・ジクロロ・ボージメテルスルファモイル・アセトフェノンシよび 1・メチル・3・フェールテオ銀貨から得られる。 無色結晶 [m.p. 228 c(分解)]。
- b) 4-(4-タロロ・3-ジメナルスルファ

モイルフェニル) - 3 - メチル - 2 - フェニルイミノチアゾリジン - 4 - ボール 8.52 f (0.02 モル)をメタノール 1 2 5 mt中でエーテル性塩酸剤 都を用いて強酸性化 し、そして無数を留去する。 製物を水酢酸 1 0 0 mt中で 1 時間加熱透剤し、 標準を冒去し、そして発質物を酢酸エステル下で 朝品化せしめる。 無色納品 (m.p. 2 2 8~2 5 1 t (分解)、エタノールから)。

c) 4-(4-90ロ-3-ジメテルスルフアモイルフェニル)-3-メテル-2-フェニルイとノ-4-チアゾリン B.99(0.02モル)をメタノール 150ml中で節和のエーテル性塩化水素
影響を用いて酸性にし、唇夢を留去し、そして
数冒物をエメノールから再給品する。D.D.229~253 C(分解)。

実施例 4 ~(4 - タロロ - 3 - ジメチルス ルフアモイルフエニル)- 3 - メチ

-78-

特際昭56- 10180 (21)

2 TOO

ル・2 - フェニルイミノ・4 - チア ゾリンメタンスルホン酸塩

上記表題の化合物は実施例 5 c) 在記載された
ようにして、4 - (4 - クロロ - 3 - ジメチル
スルフアモイルフエニル) - 5 - メチル - 2 フエニルイミノ - 4 - チアゾリンおよびメタン
スルホン節 C D 2 モルから得られる。無色舒晶
(m.p. 198~199 t)。

実施例 5 4 - (4 - タロロ - 3 - ジメテルス ルフアモイルフエニル) - 3 - メチ ル - 2 - フエニルイミノ - 4 - チア ゾリンp - トルエンスルホン酸塩

上記接触の化合物は容施例 5 c) に記載された ようにして、4 - (4 - クロロー 5 - ジメテル スルフアモイルフエエル) - 3 - メテル - 2 -フエニルイミノ - 4 - ナアゾリンおよびコート C ルエンスルホン版 C C 2 モルから得られる。無

-79-

実施例 8 4 - (4 - タロロ - 3 - ジメテルス ルフアモイルフエニル) - 2 - (4 - フルオロフエニルイミノ) - 3 -メチル - 4 - チアゾリン臭化水素薬

結長(メチノール・酢酸エステルから、 m.p.

158~1620).

a) 上記の表現化合物は突旋例 1 m) 化 紀 敬 された よう にして 2 - プロモ・ 4'- クロロー 3'- ジメテル スルファモイル - アセトフエノンおよび 1 - (4 - フルオロフエニル) - 3 - メチルテオ尿素か 色舫品 (m.p. 196℃)。

突動例 6 4 - (4 - 9 ロロー 3 - ジメチルス ルフアモイル ププフエニル) - 3 -メチル - 2 - (2 - メチルフエニル - イミノ) - 4 - チアゾリン共化水

常数组

上的表題の化合物は実物例 1 b) K 配数されたようにして4 - (4 - クロロ・3 - ジメテルスルフナモイルフエニル) - 3 - メテル・2 - (2 - メチルフエニル・イミノ) - テアゾリジン・4 - オール臭化水象酸塩から出発し、そして分節した機解性の結晶を意象で水酢酸から炉別することにより得られる。無色結晶(n.p. 256C)。実施例 7 4 - (4 - クロロ・5 - ジメテルスルフサモイルフエニル) - 3 - メテルフエニル - 4

ミノ・4・チアゾリン -80-

ら持られる。無色の結晶 (m.p. 251~253で (分解))。

D) 上記の鉄舶化合物は実施例 1 b) 化配数されたようにして4~(4~クロロ・3~ジメテルスルフでモイルフエニル)-2~(4~フルオロフエニル・イミノ)-チアゾリジン・4・オール臭化水素散塩から得られる。無色結晶(m.p. 252 C)。

製施例9 4 - (4 - タロロ-3-ジメナルスルフ アモイルフエニル) - 2 - (4 - フ ルオロフエニル - イミノ) - 3 - メ チル - 4 - チアゾリン

上記扱限の化合物は実施例 2 a) 化記載された ようにして、4 - (4 - クロロ - 3 - ジメテル スルフナモイルフエニル) - 2 - (4 - フルオ ロフエニル - イミノ) - 3 - メテル - 4 - テア ゾリン真化水素酸塩から得られる。無色ないし

-88-

族黄色の終森 (m.p. 144~145℃)。

契路例10 2-(4-ジェテルアミノフエニル-イミノ)-4-(4-クロロー3-ジメテルスルフアモイルフェニル)-3-メテル・4-チアソリン臭化水浆砂塩

上記表題の化合物は実施例 1 b) に記載されたようにして 2 - (4 - ジェチルアセノフェニル - イミノ) - 4 - (4 - クロロ・ 5 - ジメチルスルファモイルフェニル) - 3 - メチル・チアソリジン - 4 - オール臭化水素取塩から得られる。水能御中で加熱したのち容音 3 0 単まで搭載を登去し、そしてジイソプロピルエーテル 1 5 0 mlを用いて所図の生成物を沈殿させる。無色納品 (m.p. 257 t (分辨))。

実施例11 2 - (4 - ジエテルアミノフエエ ル・イミノ) - 4 - (4 - タロロ

- B 5 -

メチルスルファモイルアセトフェノンおよび 1 - (2 - クロロフエエル) - 3 - メチルチオ尿 柔から得られる。加熱素旋したのち冷却し、 5 倍容者のジイソプロピルエーテルを加え窟盤で 2 時間春拌し、そして約歳を炉別する(p.p.246 ~248で)。

b) 上配の表現化合物は実務例 1 b) 化配載されたようにして4~(4~クロロ-3~ジメテルスルフアモイルフエルル) - 2~(2~タロロフエニル-イミノ) - 5~メテルチアゾリジン・4~オール美化水素酸塩から得られる。無色粧品(m.p. 248で)。

実施你 1 3 4 - (4 - クロロー 5 - ジメテル スルフナモイルフエニル) - 2 -(2 - タロロフエニル - イモノ) - 3 - メテル - 4 - テアゾリン

a) 上記の表現化合物は実施例 2 a) 作記数され

特開的56- 10180 (22) - 5 - ジメチルスルファモイルフ エニル) - 5 - メチル - 4 - チア ソリン

上記教師の化合物は実施例 2 a) K 記載されたようにしてメタノール中の 2 ~ (4 ~ ジェテルアミノフェニル ~ イミノ) ~ 4 ~ (4 ~ クロロ・5 ~ ジメテルスルフアモイルフェニル) ~ 3 ~ メテル ~ 4 ~ テアゾリン 長化水素酸塩 * よびトリエテルアミンから 宣伝で得られる(m.p.184~185で)。

契施例12 4-(4-クロロー3-ジメナル スルフアモイルフエニル)-2-(2-クロロフエニルイモノ)-3-メナル-4-ナアゾリン具化 金融機体

a) 上記の表現化合物は実施例 1 a) に記載され たようにして 2 - プロモー 4' - クロロー 5' - ジ

-84-

たようにして上記教師の化合物の真化水素散塩 およびトリエテルアミンから得られる。無色結 品 (m.p. 152~154° (エタノールから)]。

- b) 上記の表籍化合物は実施例 2 b) と同様に 4
 (4 ~ 夕 a a ~ 3 ~ ジメチルスルファモイルフェニル) 2 ~ (2 ~ ク a a a z エルーイミノ) 3 メチルチアゾリジン 4 ~ オールを 水酢酸中で 2 0 分間激沸し、つぎに同様に後処理するととにより得られる。m.p. 155~157c
- 。) 4 (4 クロロ・ 5 ジメチルメルフアモイルフェニル) 2 (2 クロロフエニル・イミノ) 5 メチルチアゾリジン 4 オール臭化水素酸塩 1 0.8 Pモメタノール 1 D 0 ml かよびトリエテルアミン 1 D ml の混合物中で 3 D 分間加熱療放し、つぎに同量の水に住ぐ。 筑復である時間機弁し、納品を炉即し、そしてエタ

- 8 6 -

ノールから再始品する。 m.p. 155~156℃。 実施例14.4~(4~クロロー3・ジメテル スルフアモイルフェニル)・2・ (4 - メトキシフエニル・イミノ) - 3 - メテル - 4 - チアゾリン具 化水素酸塩

労助例 1 b) に記載されたようにして4 ~ (4 - クロローちージメチルスルフアモイルフエニ ル) - 2 - (4-メトキシフエニル・イミノ) - 3 - メナルナアゾリジン・4・オール典化水 集破塩から得られる。氷酢酸を留去したのち残 留物をアセトンとともに数回煮沸して抽出し、 そして結晶を炉別する。m.p. 240~241°(分解)。 実施例15 4‐(4‐クロロ‐5‐ジメチル スルフアモイルフエエル) - 2 -(4 - メトキシフエニル・イモノ) - 8 - メチルー4 - チアブリン

> スルファモイルフエエル) - 3 -メチル・2~(4~トリフルオロ メチルフエニル・イモノリー 4 。 チアゾリン

上記表類の化合物は実施例 2 a) 化配敷された ようにして、実施例、16の投幣化合物の臭化水 素敵塩かよびトリエチルアミンから得られる (m.p. 147~151C).

実施例18 4~(4-クロロ・5~ジメテル スルフアモイルフエニル) - 5 -メテル・2・(2,4・ジメナルフ エニル・イミノン・4~チアゾリ

と 臭化 水素 陳 塩

a.》 上記の表語化合物は実施例 1 a.)に記載され たようにして、2~ブロモー 4′- クロロー 5′-ジメナルスルフアモイルアセトフエノンかよび 1 - (2,4 - ジメナルフエエル) - 3 - メナル

- 8 8 -

排開昭56- 10180 (23) 上記表第の化合物は実施 2 a) 杯記載された ようにして、エメノール中の上記表層化合物の 臭化水素酸塩(実施例14参照)かよびトリエ ナルアミンから待られる。無色前森 (m.p. 198 ~199C).

実施例16 4~(4-クロロー3-ジメテル スルフサモイルフエエル) - 3 -メチルー2-(4-トリフルオロ メナルフエニル・イミノ) ・ 4 ・・ チアゾリン典化水常微塩

上配表題の化合物は実施例 1 b) に配収された ようにして4~(4~クロロー3~ジメテルス ルフサモイルフエエル)-3-メテル-2-(4 トリフルオロメテルフエニル・イミノ)・テ アプリジン・4・オール臭化水素製塩から得り れる。無色結晶 (m.p. 228℃)。 4 - (4 - クロロ - 3 - ジメナル

- a a -

チオ尿素から待られる。常能を除去したのち表 智物をアセトン 100㎡中で加熱浄策し、その傷 合物を重温まで冷却し、そして結晶を伊別する [m.p.262~264℃(分解)]。

b) 上記の表題化合物は実施例 1 b) に記載され 九よりにして、4-(4-クロローろージメチ ルヌルフアモイルフエコル) - ろ・メナル - 2 - (2,4 - ジメチルフエニル・イミノ) - チア プリジン・4・オール臭化水素酸塩から得られる。 無色結晶(n.p. 264℃、水酢酸から)。

実施例19 4‐(4‐クロロ・3‐ジメテル スルフアモイルフエニル) - 3 -メチル・2-(2,4-ジメナルフ エコル・イミノ)・4・テアゾリ

上記の表態化合物は実幕例 2 m)に記載された ようれして、4~(4~クロロー 5~ジメテル

-90-

#福昭56- 10180 (24)

スルフアモイルフエニル) - 3 - メナル - 2 - (2,4 - ジメナルフエニル - イミノ) - 4 - ナアソリン臭化水素環境から得られる。無色遊晶(m.p. 152~154 c)。

実施例 2 0 2 - (4 - タロロ - 2 - メテルフェニル - イミノ) - 4 - (4 - タロロ - 5 - ジメテルスルフでモイルフエニル) - 5 - メテル - 4 - チブゾリン臭化水素康塩

上記の表盤化合物は実施例 1 b) に記載された
ようにして、2 - (4 - クロロ - 5 - メテルフ
エニル - イミノ) - 4 - (4 - クロロ - 5 - ジ
メテルスルフサモイルフエニル) - 5 - メテル
ナアゾリジン - 4 - オール 臭化水素酸塩を水酢
酸中で煮沸し、つぎにジエテルエーテルを用い
て沈霰せしめることにより得られる。水酢酸か
ら再結品すると無色的品 [n.p. 251で(分類)]

. **1** − 9 2 +

a) 上記の表現化合物は実施例 1 a) に記載されたようにして、2 - プロモー 4 - クロロー 3 - ジメナルスルフアモイル - アセトフェノン かよび (4 - タロロフエニル) - 3 - メテルチオ尿素から得られる。無色結晶 [p.p. 244~246 に (分解)]。

n) 上記の表現化合物は実施例 1 b) と同様化して 2 - (4 - タロロ・5 - ジメナルスルフ T モイルフェニル) - 2 - (4 - タロロフエニル・イミノ) - 3 - メナルチアゾリジン・4 - オール臭化水素酸塩を水酢酸中で 2 時間煮沸することにより得られる (m.p. 246で(分解))。

実施例25 4-(4-タロロ-5-ジメナル ヌルフアモイルフエニル)-2-(4-タロロフエエル-イミノ) -5-メナル-4-ナTゾリン

上記の表験化合物は実施例24)に記載された。

実施例21 2-(4-クロロ-2-メテルフ エエル-イミノ)-4-(4-ク ロロ-3-ジメテルメルフアモイ

が得られる。

上記の映像化合物は実施供 2 m) に配象された
ようにして。 2 - (4 - クロロー 3 - メテルフ
エニル・イミノ) - 4 - (4 - タロロー 3 - ジ
メテルスルフアモイルフエニル) - 5 - メテル
- 4 - チアゾリン臭化水素原塚およびトリエテ
ルアミンから得られる。 (m.p. 137~141で b
実施例 2 2 2 - (4 - タロロー 3 - ジメテル
スルフアモイルフエニル) - 2 (4- タロロフエニル・イミノ) 3 - メテル・4 - テアゾリン臭化

-02-

ようだして、表現化合物の臭化水素酸塩(多糖例22番煎)かよびトリエテルアミンから得られる。無色結晶(m.p. 184℃)。

突着例24 4-(4-クロロ-5-ジメテル スルフザモイルフエエル)-5-メチル-2-(2:5-ジメテルフ エエル-イミノ)-4-チアブリ ン臭化水素管塩

上記の表題化合物は実施例 1 b) に耐敏されたようにして、4 - (4 - クロロ・5 - ジメサルスルフアモイルフエニル) - 3 - メテル - 2 - (2,5 - ジメテルフエニル - イミノ) - チアゾリジン - 4 - オール臭化水素酸塩を水酢酸中で2時間激沸し、そして塩塩で結晶を炉別するととにより得られる。無色結晶(m.p. 256で(分、解)、水酢酸から)。

実施例25:4~(4~クロデー3~ジメサル

-66-

スルフサモイルフェニル) - 5 -メナル - 2 - (2,5 - ジメナルフ エニル - イミノ) - 4 - チアゾリ ン

上記の扱い化合物は実施例 2 a) 化配取された ようにしてメタノール中の 4 - (4 - タロロ -3 - ジメテルスルフアモイルフエニル) - 3 -メチル - 2 - (2,5 - ジメテルフエニル - 1 t ノ) - 4 - チアゾリン臭化水素酸塩和よびトリ エテルア 2 ンから待られる (a.p. 226 t)。

契約例26 2-(5-クロロ-2-メチルフェニル-4 t J) - 4 - (4 - クロロ-3-ジメチルスルフアモイルフエニル) - 5 - メチル・4 - チアゾリン会化水素製塩

上記の表際化合物は突旋例 1 b) た記載された ようにして、2 ~ (3 - 久ロロ ~ 2 - メテルア

に 2 0 f メタノール性アンモニア群核でアルカ り性に し、そして実施例 2 a) と同様に接処理する。無色額品 (m.p. 144~146 t)。

上記の扱題化合物は実施例 1 b) に記載されたようにして 2 - (4 - クロロ - 2 - メトキシフェニル - イミノ) - 4 - (4 - クロロ - 3 - ジメテルヌルフアモイルフェニル) - 3 - メテルテアゾリジン - 4 - オール具化水素酸塩から酸中で 3 0 分間煮添し、つぎに溶練を留去し、残留物を酢酸エステルまたはジイソプロピルエーテルで処理し、そして固体分を炉過することにより得られる (n.p. 244で(分辨))。

-07-

特間856-1018025)
エエル・イミノ)・4・(4・タロロ・5・ジ
メテルヌルフアモイルフエエル)・5・メテル
アアゾリジン・4・オール奥化水果酸塩を氷酢
酸中で20分間加熱量液するか。またはプロピ
オン酸中110でで45分間加熱するととだより
初ちれる。無色結晶[m.p.226~228で(分解)]。
実施例27 2・(5・タロロ・2・メテルフエエル・イミノ)・4・(4・クロロ・5・ジメテルスルフアモイルフエエル)・5・メテル・4・

上記の表現化合物は実施的 2 a) に記載されたようにして 2 - (5 - クロロ - 2 - メテルフェニル - イミノ) - 4 - (4 - クロロ - 5 - ジメテルスルフアモイルフェニル) - 5 - メテル・4 - ナアゾリン臭化水素酸塩から得られるが、ただしこの場合にはトリエテルアミンの代わり

- 0 4 -

実施例 2 9 2 - (4 - クロロ - 2 - メトキンフェニル - イミノ) - 4 - (4 - クロロ - 5 - ジメテルスルフサモイルフェニル) - 5 - メテル - 4 - チアゾリン

上記の接触化合物は実施例 2 a) に配載された ようにして 2 - (4 - タロロ - 2 - メトキシフ エユル - イミノ) - 4 - (4 - タロロ - 5 - ジ メチルヌルフアモイルフエエル) - 5 - メチル - 4 - チアゾリン臭化水素酸塩から待られる。 無色紡品 (a.p. 148~150°)。

実施例 5 0 4 - (4 - タロロ - 5 - ジメチル スルフアモイルフエニル) - 5 -メテル - 2 - (5,4 - メテレンジ オキシフエニル - イミノ) - 4 -チアゾリン具化水素酸塩

上配の表題化合物は実施例 1 b) に配収された

-98-

上記の扱強化合物は要素例 2 7 化配数されたようにして4 - (4 - クロロ - 5 - ジメテルスルフサモイルフエニル) - 5 - メテル-2-(3,4 - メチレンジオキシフエニル - イミノ) - 4 - デアゾリン臭化水素酸塩から得られる。m.p. 171 ~ 173 c の納品。

実施例32 2~(5,4~エテレンジオキシフ

エニル・イミノ) - 4 - (4 - 9 ロロ - 3 - ジメチルスルフでモイ ルフエニル) - 3 - メチル - 4 -

上配の表現化合物は実施例 2 a) に配数された ようにして 2 - (3,4 - エチレンジオキシフエニル - イミノ) - 4 - (4 - タロロ - 5 - ジメテルスルファモイルフエニル) - 5 - メテル・4 - チアプリン臭化水果酸塩から待られる。無色結晶 (m.p. 200~205c)。

要的例 5 4 4 - (4 - クロロ - 5 - ジメテル スルフアモイルフエニル) - 5 -メテル - 2 - (5,4,5 - トリメト キンフエニル - イミノ) - 4 - テ アゾリン臭化水素酸塩

上記の表態化合物は実施例 1 b) 本記載されたようにして4 - (4 - クロロ - 3 - ジメテルス

特別的56- 10180 (26) エニル・イミノ)・4・(4・クロロ・5・ジメテルスルフアモイルフエニル)・5・メテルー 4・サアゾリン典化水素酸塩

a) 上記の表現化合物は実施例 1 a) に記載されたようにして 2 - プロモーギータロロー 5' - ジメチルスルフ アモイルアセトフエノン かよび 1 - (3.4 - エテレンジオキシフエコル) - 3 - メチルナオ原素から得られる。 無色結晶 (m.p. 265~267 t (分解))。

b) 上記の表題化合物は実施例 1 b) に記載されたようにして 2 ~ (3,4 ~ エテレンジオキシフエニル ~ イミノ) ~ 4 ~ (4 ~ クロロ~ 3 ~ ジメテルスルフアモイルフエニル) ~ 5 ~ メテル テアソリジン ~ 4 ~ オール 奥化水素酸塩から得られる [m.p. 268c(分解)]。

実施例 5 5 2 - (5,4 - エテレンジオキシフ

-100-

ルフアモイルフェニル) - 5 - メテル - 2 - (5,4,5 - トリメトキシフェニル - イミノ) - テアゾリジン - 4 - オール 典化水素酸塩から水酢酸中で 5 0 分間煮搾し、そしてジイソプロピルエーテルで注酸せしめることにより得られる(m.p. 246c)。

契施例 5 5 4 - (4 - クロロ・ 3 - ジメテル
スルフアモイルフエニル) - 5 メテル・2 - (5,4,5 - トリメト
キンフエニル - イミノ) - 4 - ナ
アゾリン

a) 上配の表型化合物は実施例2a) に記載されたようにして、メタノール中の4 ~ (4 ~ タロロ - 3 ~ ジメテルスルフアモイルフエエル) ~ 3 ~ メテル ~ 2 ~ (5,4,5 ~ トリメトキシフエエル - イミノ) ~ 4 ~ テアゾリン共化水準微塩 かよびトリエテルアミンから得られるか、また

-108-

-101-

Ħ

b) 上記の表現化合物は酢酸エステル 100 m/トルエン 5 0 m かよび pB 8~8.5 の水性炭酸 水象ナトリウム溶粉 100 m の混合物中で模拌することにより得られる。 4 時間 様に有機相を分離し、物薬を水流真空下で質安し、そして残傷物をジィップロピルエーテルをたは水で処理し、ついて納品を炉過する (n.p. 119~122 c)。

実施例 3 6 4 - (4 - クロロ - 5 - ジメテル
スルフアモイルフエニル) - 2 (2,4 - ジタロロ - 5 - メテルフ
エニル - イミノ) - 3 - メテル・
4 - テアゾリン美化水果酸塩

上記の表題化合物はアセトン,140m中で2-プロモ・ゼ・クロローガ・ジメテルスルフでモ イルアセトフエノン 0.0 2.モルを1-(2.4-ジクロロー5-メテル) - 5-メテルテ末原素

-103-

5 - ジメナルスルフアモイルフエニル) - 2 -(2 - メチルフエニル - イミノ) - チアゾリジン - 4 - オール臭化水素酸塩から得られる(mp. 281~282 t (分解))。

上記の表際化合物は実施例 2 a) 化記載されたようにして3 - エチル・4 - (4 - タロロ・3 - ジメチルスルフアモイルフエエル) - 2 - (2 - メテルフエエル - イミノ) - 4 - チアゾリン 臭化水素酸塩から得られる。無色納品(n.p. 164~166c)。

契約例39 4 - (4 - クロロ・3 - ジメテル メルフナモイルフエニル) - 2 -フエニルイモノ - 3 - プロビル -

-106-

持限的56- 10180(27) Q D 2 モルと反応させることにより得られる。

窓信で16時間接押し、最便冷却群を付して6時間加熱意楽し、そして銀版で一夜放置したのち分離した結晶を炉別する(m.p.242で(分解) 2

5 - エテル - 4 - (4 - クワロ -5 - ジメナルスルフアモイルフエ エル) - 2 - (2 - メチルフエニ ル - イセノ) - 4 - チアゾリン具

a) 上記の表題化合物は実施例 1 a) に記載されたようにして 2 ・ブロモ・ 4'・タロロ・ 5'・ジメチルスルフアモイルアセトフエノンシよび 3 ・エテル・ 1 ・ (2 ・メチルフエエル) ・チオ駅景から待られる。無色結晶 (m.p. 280~282 に (分解))。

化水素酸煤。

b) 上記の表題化合物は実施例 1 b) に配象されたようにして 5 - エチル・4 - (4 - タロロー

-104-

4 - チアゾリン異化水素酸塩

上記の役職化合物は実施例 1 b) に記載されたようにして4 - (4 - クロロ - 3 - ジメナルスルフアモイルフエニル)v - 2 - フエエルイミノ - 3 - プロピルチアゾリジン - 4 - オール臭化水果酸塩から得られる。無色粧品 [m.p. 225t (分解))。

実施例 4 0 4 - (4 - クロロ・3 - ジメナル スルフアモイルフエエル) - 3 -シクロプロピル - 2 - フエユルイ ミノ - 4 - チアブリン臭化水素酸

a) 上記の表題化合物は実施例 1 a) に記載されたようにして、1 - シタロプロピル - 3 - フェニルチオ尿素かよび 2 - ブロモ - 4 - タロローボージメテルスルフアモイル - アセトフエノンからエタノール 200mm 中重数で 4 8 時間提择し、

-106-

つぎに表現を知器を付して2時間兼得し、悪業を留去し、そしてジインプロピルエーテルをた は酢便エステルに無視したのち結晶を呼過する ことにより得られる。無色結晶[n.p.260~ 262で(分解)]。

b) * 上記の表題化合物は実施例 1 b) と同様にして
4 - (4 - クロロ・3 - ジメテルスルファモイ
ルフエニル) - 3 - シクロプロピル - 2 - フエ
エルイミノチアゾリジン - 4 - オール美化水素
酸塩から得られる。無色納品 [m.p. 259~264℃
(分別)]。

製箱例 4 1 4 - (4 - 9 0 0 - 5 - ジメナル スルフアモイルフエニル) - 5 -ックロプロピル - 2 - フエニルイ モノ - 4 - チアゾリン

上記の表題化合物は実施例·2 s) K 記載された ようにして4 - (4 - クロロ - 3 - ジメテルス

-107-

ロロ・3-ジメテルスルフアモイルフエニル)-2-フエニルイミノ~4-チアゾリン

上記の表題化合物は実施例 2 a) または 3 5 b)

に記載されたようにして 5 ~ 都 2 級ブチルー 4

- (4 - クロロー 5 - ジメテルスルフ 7 モイル)

- 2 - フエニルイ t ノー 4 - チ ア ゾリン 美化水 素酸塩から待られる。 無色結晶 (m.p. 138 t)。

実施例 4 4 4 - (4 - クロロー 5 - ジメチル
スルフ 7 モイルフエニル) - 5 ューヘキシル - 2 - フエニルイ t
ノ-4-テア ゾリン 美化水素像塩

上記の表際化合物はa) 実施例 1 a) 化配数されたようにして 2 - プロモー 4 - タロロー 5 - ジメテルスルフアモイル - アセトフエノンかよび 5 - ローヘキシルー 1 - フェニルテオ尿素から 符られるか、または b) 実施例 1 b) に配数された

-109-

精闘昭56- 10180 (23)
ルフアモイルフェニル) - 3 - ジタロプロピル
- 2 - フェニルイミノー 4 - チアゾリン臭化水 乗取塩から得られる (m.p. 156~159 t)。 実施例 4 2 5 - 第 2 級プチルー 4 - (4 - タロー3 - ジメテルスルフ アモイルフェニル) - 2 - フェニルイミノー 4 - チアゾリン臭化水素酸塩

上配の表題化合物は実施例14) に記載された ようにして2 - ブロモ・ポークロロ - 3 - ジメ テルスルフアモイル・アセトフエノンをよび3 - 第2般プテル・1 - フエエルテオ尿素から符 られるか、または実施例1D) と同様にして3 -第2般プテル・4 - (4 - クロロ - 3 - ジメテ ルスルフアモイルフェエルり - 2 - フエエルイ まノチアプリジン・4 - オール美化水素酸塩か ら得られる。無色結晶[m.p. 250で(分解)]。 実施例43 3 - 第2般プテル・4 - (4 - ク

-10B-

ようだして 4 - (4 - クロロー 3 - ジメチルスルフアモイルフエニル) - 5 - n - ヘキシル・2 - フエニルイミノテアゾリジン - 4 - オール具化水米砂塩から得られる。無色結晶(m・P・254で(分別))。

実施例 4 5 4 - (4 - クロロ - 3 - ジメテル スルフアモイルフエニル) - 3 -ューヘキンル - 2 - フエニルイミ ノ - 4 - チアゾリン

上配の表別化合物は実施例 2 a) 化配配されたようにして4 - (4 - クロロ - 3 - ジメテルスルフアモイルフエエル) - 3 - ロ - ヘキシル・2 - フェニルイミノ - 4 - チアゾリン臭化水素 酸塩から得られる (m.p. 86 t)。

契范例 4 6 4 - (4 - クロロ - 3 - ジメチル スルフアモイルフエニル) - 3 -シクロヘキシル - 2 - フエニルイ

-110-

特用昭56--10180 (29)

まノー4ーサブリン典化水素限

上記の表類化合物は実施例 1 b) に記載されたようにして4-(4-クロロ-3-ジメチルスルフアモイルフエエル) - 3- シクロヘキシル-2-フエユルイセノチアゾリジン・4-オール臭化水素敬塩から得られる。無色結晶(n.p. 256で)。

実施例 4 7 4 - (4 - クロロ・ 5 - ジメテル スルフアモイルフエニル) - 5 -シクロヘキシル - 2 - フエニルイ ミノ - 4 - チアゾリン

上記の表現化合物は実施例 2 c) または 3 5 b) に記載されたようにして、 4 - (4 - クロロ・3 - ジメチルスルフアモイルフエエル) - 5 - シクロヘキンル・2 - フエエルイミノ・4 - チアゾリン臭化水素酸塩から得られる。無色粧品

-111-

フエニル) - 2 - (2 - メテルフ エニル - イミノ) - 4 - チアゾリ

上記の表現化合物は実施例 2 m) に記載されたようにして 5 - n - ブテル - 4 - (4 - クロロー 5 - ジナナルスルフサモイルフエニル) - 2 - (2 - メテルフエニル - 4 t ノ) - 4 - ナアゾリン臭化水素酸塩から得られる。結晶(m.p. 10 4で)。

突然例 5 0 4 - (3 - ジエチルスルフアモイル・4 - クロロフエニル) - 3 - メチル・2 - フエニルイミノ・4 - チアゾリン塩酸塩

上配の表題化合物はエタノール 1 2 0 m 中 4 - (5 - ジェチルスルフアモイル - 4 - タロロアエニル) - 5 - メチル - 2 - フエニルイ t ノチアゾリジン - 4 - オール C O 2 モルの熱傷物を

-113-

(m.p. 148t).

シ 臭化水素 融塩

上記の表型化合物はa) 実施例 1 a) に配載されたようにして 5 - n - ブテル - 1 - フェニルチオ原素かよび 2 - ブロモ - 4' - クロロ - 5' - ジメテルスルフ T モイル T セトフェノン から得られるか、または b) 5 - n - ブテル - 4 - (4 - クロロ - 5 - ジメテルスルフ T モイルフ エニル) - 2 - (2 - メテルフ エニル - イミノ) - テアソリジン - 4 - オール 臭化水素酸塩から得られる。無色の額長 (m.p. 258 t)。

-118-

エーテル性塩酸複像で酸性にしたのち 2 時間激 排することにより得られる。裸態を留去し、そ して幾智物をジイソプロピルエーテル下で結晶 化せしめる。無色結晶 (m.p. 222で、エタノー ル/エーテルから)。

実施例 5 1 4 - (5 - ジエナルスルフアモイ) ル - 4 - タロロフエエル) - 2 -(4 - タロロフエエルイミノ) -3 - メテル - 4 - チアゾリン臭化

水素酸塩

上記の扱題化合物は a) 実施例 1 a) 作記載され たようにして 5' - ジェテルスルフ アモイル - 2 - ブロモ - 4' - タロロ - アセトフェノン かよび 1 - (4 - タロロフエニル) - 3 - メテルチオ 尿素から得られるか、または b) 実施例 1 b) と同 様にして 4 - (3 - ジェテルスルフ アモイル -4 - タロロフエニル) - 2 - (4 - クロロフェ

-114-

エル・イミノ) - 3 - メチルチアゾリジン - 4 - オール真化水米原塩を水酢酸中で 2 時間煮沸し、そして冷袋粕品を炉過することにより得られる (m.p. 207c(分解))。

製施例 5 2 4 - (8 - ジェテルスルファモイル - 4 - タロロフェニル) - 2 - (4 - タロロフェニル - イミノ) - 5 - メテル・4 - テアゾリン

上記の摂題化合物は実施例 2 a) 化配散されたようにして対応する臭化水果酸塩(宇施伊 5 1 参照)から待られる。無色結晶(m.p. 198で2 実施例 5 5 4 - (3 - ジェテルスルファモイル・4 - クロロフェニル) - 3 - メテル・2 - (2 - メテルフェニル・1 く ノ) - 4 - デアゾリン臭化水果酸塩

上記の表題化合物は実施例 5 1 な)に配敷され

ようだして 4 - (5 - B - プチル - B - メチルスルフでモイル - 4 - タロロフエニル) - 3 -メチル - 2 - フエニルイミノチアゾリジン - 4 - オールから得られる。無色組品(m.p. 98 ~ 100で)。

契約例56 4-(5~×-プテル・8-メテ ルスルフアモイル・4-クロロフ エニル)・5-メテル・2-フエ ユルイミノ・4-テアゾリン塩糠

上配の表題化合物は実路例 5 c) 代記載されたようだして実施例 5 5 のチアゾリンから得られる。無色結晶 (m.p. 84~87 t (分界))。

実施供57 4 - (4 - クロロ - 3 - ジプロピ ルスルフTモイルフエニル) - 3 - メナル - 2 - (2 - メナルフエ ニル - イミノ) - 4 - ナアゾリン 特別的56-10180(30) たようにして、4-(5-ジメテルスルフでモイル・4-クロロフエエル)-3-メテル-2 -(2-メテルフエエル・イミノ)-チアプリジン・4-オール美化水素酸塩から待られる。 無色終品(m.p. 258で(分解))。

貨車例 5 4 4 - (5 - ジェナルスルフアモイル - 4 - タロロフエニル) - 5 - メナル - 2 - (2 - メナルフエニル・イセノ) - 4 - ナアゾリン

上記の扱動化合物は実施例 2 e) に配款されたようにして対応する具化水素散塩(実施例 5 5 参照)から得られる。無色新品(u,p. 166で)。 実施例 5 5 4 - (3 - 以 - ブテルー x - メテルスルフアモイル - 4 - タロロアエニル) - 3 - メテル・2 - フェニルイミノ - 4 - テアゾリン

上記の表願化合物は実施例 2 b) 代配載された

臭化水果酸塩

上記の表題化合物は実施例 1 b) 代記載されたようだして4 - (4 - タロロ - 3 - ジプロピルスルフアモイルフエエル) - 3 - メチル - 2 - (2 - メチルフエエル) - サブゾリジン - 4 - オール具化水素酸塩を氷酢酸中で 2 時間兼浄することにより得られる。最難し、幾智物に水を加え、そして結晶を炉別する(m.p. 218~220℃)
実施例 5 8 4 - (4 - タロロ - 5 - ジプロピルスルフアモイルフエエル) - 3 - メチル - 2 - (2 - メチルフエエル - 4 + ファゾリン

上記の表現化合物は集集例 2 a) に記載されたようにして対応する異化水準改塩 (実施例 5 7 参照) かよびトリエテルア t ンから得られる。 無色的品 (a.p. 114~116 t)。 実施例 5 9 4 - (4 - タロロ - 5 - ジプロビ

E 20191.5 9 4 ~ (:4 ~ 9 22 2 ~ 3 ~ 2 7 2

-118- :

ルスルフアモイルフエエル) - 5 - メチル - 2 - (2,4 - ジメチル フエエル - イミノ) - 4 - チアゾ リン臭化水素酸塩

上記の表題化合物は実施例 5 1 b) に記載されたようにして4 - (4 - タロロ・ジプロピルスルフアモイルフエニル) - 3 - メテル - 2 - (2,4 - ジメテルフエニル) - テアゾリジン - 4 - オール臭化水素取塩から得られる。無色結晶(a.p. 259~241で(分節))。

契題例 6 0 4 - (4 - クロロ・3 - ジプロピ ルスルフサモイルフエエル) - 3 - メテル - 2 - (2,4 - ジメテル フエエル - イミノ) - 4 - チアゾ

上配の表類化合物は実施例 2 s) に配敷されたようにして対応する臭化水素酸塩(実施例 5 9

-11v-

ルスルフアモイルフエニル) - 5 - メテル - 2 - (2,5 - ジメテル フエニル - イミノ) - 4 - テアゾ

上記の表題化合物は実施例 2 a) に記載されたようだして表題化合物の臭化水学散塩(実施例6 1 参照) から得られる。無色納品(p.p. 184 ~ 187 t)。

契施例 6 5 2 - (5 - クロロー 2.4 - ジメト キシフエニルーイミノ) - 4-(4 - クロロー 3 - ジプロピルスルフ ナモイルフエニル) - 5 - メチル - 4 - ナアゾリン臭化水素酸塩

上記の表態化合物は実施例 1 b) 化記載された ようにして 2 - (5 - クロロ - 2,4 - ジメトキ シフエニル・イミノ) - 4 - (4 - クロロ - 3 - ジプロピルスルフアモイルフエニル) - 5 - 対開明56- 10180 (31) 参照)から得られる。無色結晶(m.p. 1 5 9~ 141℃)。

実施例 6 1 4 - (4 - クロロー 5 - ジプロピルスルフアモイルフエエル) - 5 - メテル・2 - (2,5 - ジメテルフエエル - イミノ) - 4 - チアゾリン美化水素散塩

上記の表数化合物は契約例 1 b) に記載されたようにして4~(4~クロロ・3~ジブロビルスルフアモイルフエエル)・3~メテル・2~(2.5~ジメテルフエエル・イミノ)・テアゾリジン・4~オール臭化水素酸塩から水酢酸塩で煮促し、つぎに蒸発させ、そして粘稠を残留動を水で納品化させることにより得られる。メメノール・エーテルから無色の納品(n.p. 210~212*)。

要指例 6 2 4 - (4 - タロロ・ 3 ~ ジプロビ -120-

メテルチアグリジン・4・オール典化水素酸塩から水酢酸中で液体し、そして複雑を留去したのち残留物を水とともに提押することにより得られる。無定形のガラス状箇体分(a.p. 150 ~150 ~150 ~

実施例 6 4 2 - (5 - クロロ - 2,4 - ジメト キシフェニル - イミノ) - 4 - (4 - クロロ - 8 - ジプロピルスルフ アモイルフエニル) - 5 - メテル - 4 - テアゾリン

上記の表題化合物は実施例 2 a) に記載されたようにして対応する臭化水果酸塩から得られる。 紙色網晶 (m.p. 178~175 c)。

実施例 6 5 4 - (4 - クロロ・ 5 - 海ーモル ホリノスルフアモイルフエエル) - 3 - メテル - 2 - フエユルイミ ノ・4 - テアゾリン

-188-

-181-

上配の表現化合物は実施例 2 b) に記載されたようにして4 - (4 - クロロー 3 - 月 - 光ルホリススルホニルフエニル) - 3 - メテル・2 - フエニルイミノーテアゾリジン - 4 - オールから水酢酸中で煮得し、そしてジイソプロピルエーテルを用いて折出させるととにより得られる(5-p. 2 1 2~2 1 4 c)。

実施例 6 6 4 - 〔4 - クロロ - 3 - 〔1 - メ サル・4 - ピペラジエルスルホニ ル・フエユル〕 - 5 - メナル - 2 - フエエルイミノ - 4 - チアゾリ

上記の数額化合物は実施例 2 t) に記載された ようにして4 - (4 - クロロー 5 - (4 - メナル - 4 - ピペラジェルヌルホエル) - フェエル) - 5 - メチル - 2 - フエニルイミノチアグリジン - 4 - オールから水酢酸とともに煮沸し、つ

· -- 183-

置券されたサアグリジン・4・オール酵媒体 M からつぎの実施例に示された式1のナアゾリン が得られる。

実施例 68

4 - (4 - クロロ・ 5 - シクロプロピルスルフアモイルフエニル) - 5 - メチル - 2 - フエニルイミノ - 4 - チブゾリン (m.p. 176℃)。

実角例 69

4 - (4 - タロロ・ 5 - ジタロヘキシルスルフアモイルフエニル) - 5 - メチル - 2 - フェニルイミノ - 4 - チアゾリン (分解点 1 4 5 c)。 実施例 7 D

4 - (4 - クロロ - 3 - 4. - メテルベンジル スルフアモイル) - フエエル] - 3 - メテル -2 - フエエルイミノ - 4 - チアゾリン (m.p. 164~169℃)。

写集例 7 1

-125-

対類的56- 10180(32) ぎに搭算せ留会することにより扱られる。 残留 動に水を加え、そして 2 m 水酸化ナトリウムを用いて pa 1 5 に関節する。 結晶を炉別し、そしてイソプロパノールから再約品する (m.p. 156~158℃)。

実施例 6 7 4 - (4 - タロロ - 5 - (5,5 -ジメテルモルホリノ - 以 - スルホ ニル) - フエニル) - 5 - メテル - 2 - フエニルイミノ - 4 - チア ブリン

上記の表類化合物は実施例 2 b) 化記載されたようにして4~[4~クロロー3~(5,5 - ジメナルモルホリノー3~スルホニル)-フェニル]-5-メナル-2-フェニルイミノー4-テアゾリンから得られる。無色若品[x.p. 190~192*(エチノールから))。

実施例 2 b) 化配取されたようにして対応する

-124-

4 ~ ('4 ~ 夕ロロ ~ 3 ~ n ~ プロピルスルフ アモイルフエニル) ~ 3 ~ メテル ~ 2 ~ フェニ ルイミノ ~ 4 ~ テアゾリン (m.p. 157~160 C)。 事業係 ファ

4 - [4 - クロロ・ 3 - (4 - クロロベンジ ルスルフアモイル) - フエニル] - 3 - メチル - 2 - フエニルイミノ - 4 - チアゾリン (m.p. 246~247t)。

実施例 7.5

4 - (4 - クロロ・ 5 - スルフアモイルフェニル) - 8 - メチル・ 2 - フェニルイミノ - 4 - チアゾリン (n.p. 170~178t)。

実施例10)に配敷されたようにして対応する 世換されたチアゾリジン・4・オール誘導体制 からつぎの実施例に示された式1のチアゾリン 誘導体が得られる。

突施例 7.4

-126-

4 - (4 - クロロ - 5 - ヌルフアモイルフエ ニル) - 3,5 - ジメチル - 2 - フエニル - イミ ノ - 4 - チアゾリン臭化水素酸塩(分解点 219℃) 実施例 7 5

4-(4-プロモー5-ヌルフアモイルフエニル)-2-(4-メトキシフエニル・イミノ)
-3-メテル-4-ナアソリン共化水米散塩
(m.p. 275℃)。

宴集例 76

4 - (4 - クロロ - 3 - スルフアモイルフエロル) - 2 - (5,4,5 - トリメトキシフェニル - イミノ) - 3 - メテル - 4 - テアゾリン臭化水素像塩 (m.p. 294° (分解下))。

实施例 77

ェル) - 2 - (4 - イソプロピルフエエル - イ ミノ) - 3 - メチル - 4 - チアゾリン塚酸塩 [.m.p. 276~278℃(分解)]。

契約例 82

4-(4-タロロ-3-スポフナモイルフエエル)-3-メチル-2-(2,3-ジメチルフエニル-イミノ)-4-チアゾリン塩酸塩(m.p.240℃(分解))。

実施例 8.5

2 - (2 - タロロフエニル - イミノ) - 4 -(4 - タロロ - 3 - スルフアモイルフエニル) - 5 - メテル - 4 - チアゾリン塩酸塩(m.p. 245 ~247で)。

実施例 84

2 - (4 - クロロ - 2 - メトキシフエエル -イセノ) - 4 - (4 - クロロ - 5 - スルフ丁モ イルフエエル) - 3 - メテル - 4 - テ丁ゾリン

-129-

将開始56- 10180(33)

化水类微塔 [m.p. 285 C(分解下)]。

美施例 7.8

4 ~ (4 ~ タロロ - 5 ~ スルフサモイルフエニル) - 2 ~ (5,4 ~ メチレンジオキシフエニル - イミノ) ~ 5 ~ メテル ~ 4 ~ チアゾリン臭化水果酸塩 (n.p. 275℃(分解下))。

実施例 79

4 - (4 - タロロ - 3 - スルフサモイルフエニル) - 2 - (4 - メトセンフエニル - イミノ)
- 3 - メチル - 4 - チアゾリン臭化 水素 凝塩
(m.p. 277~280で(分解下))。

拠熱例 8 0

る - エチル - 4 - (4 - クロロ - 3 - スルフ アモイルフエニル) - 2 - フエニルイミノ - 4 - チアソリン収数塩 [a.p. 241℃(分祭)]。

安施何 8 1

4 - (4 - 9 p g - 3 - XX7TE1X7 x -128-

塩酸塩 [m.p. 234~237℃(分解)]。

築施例 8 5

2-(5-タロロ・2,4-ジメトキンフエエル-イミノ)-4-(4-タロロ-3-スルフサモイルフエエル)-5-メテル-4-チアゾリン臭化水素管塩[m·p·278~279で(分解)]。

4 - (4 - クロロ - 3 - ヌルフナモイルフエエル) - 5 - メテル - 2 - (3 - ジメテル丁モノフエニル - イミノ) - 4 - チアゾリン臭化水鉄酸塩 (n.p. 258~260℃(分解))。

実施例 8 7

4 - (4 - クロロ - 3 - スルフアモイルフエエル) - 3 - メテル - 2 - (2,4 - ジメテルフエニル - イミノ) - 4 - ナアゾリン臭化水素酸塩 [n.p. 255~258t(分解)]。

製施例 88

-130-

技励昭56- 10180 (34)

2 - (2 - エトキシ・5 - メナルフェニルイ 1 ノ) - 4 - (4 - クロロ・3 - メルフアモイ ルフエニル) - 5 - メテル - 4 - ナアソリン臭 化水米取塩 (n.p. 227~230 c)。

奖煎例 89

4 - (4 - タロロ - 3 - ヌルフサモイルフェニル) - 2 - (2 - メトキシ - 4,5 - ジメテルフエニル - イミノ) - 3 - メテル - 4 - チアゾリン臭化水素酸塩(zr.p. 257~260で)。

英篇例 90

4 - (4 - クロロ - 3 - ヌルフアモイルフェニル) - 3 - メテル - 2 - (3 - トリフルオロメテルフエニル - イミノ) - 4 - チアゾリン具化水素原塩(n.p. 217℃(分解))。

宴施例 9 1

4 - (4 - 9 ロロ - 5 - ヌルフナモイルフェ ニル) - 2 - (4 - フルオロフエニル - イミノ)

_1 **-1 8** 1 -

. .

クロロフエエル) - 3 - メテル - 2 - フエエル イミノ - 4 - チアンリン塩酸塩 (m.p. 257℃)。 実施例 95

4~ (3~ペンジルスルフアモイル-4~タロロフエエル) - 3 - メテル-2 - フエエルイミノ-4 - チアゾリン塩酸塩(分解点 152t)。 要粕例 9 6

4 - (5 - x - ベンジル・x - メチルスルフ Tモイル・4 - タロロフエエル) - 3 - メチル - 2 - フエエルイミノ・4 - チアゾリン塩酸塩 (分解点 165c、エタノールから)。

突施例 97

4-(4-クロロ-3-(2,4-ジメトキンベンジルスルフアモイル)-フェニル)-3-メチル-2-フェニルイミノ-4-チアゾリン塩酸塩(分解点158で)。 実施例 98

-133-

9711110 134 - 5 - メテルー 4 - チアゾリン 身化水素酸塩。 実動例 9 2

5 - エテル - 4 - (4 - クロロ・ 5 - メルフ アモイルフエニル) - 2 - (4 - メテルフエニ ル - イミノ) - 4 - チアゾリン臭化 水素 酸塩 [m.p. 268c (分解)]。

実施例 95

2 - (4 - エトキシフエニル - イミノ) - 4 - (4 - タロロ - 3 - スルフアセイルフエニル) - 3 - メテル - 4 - チアゾリン 臭化 水素 酸塩 [n.p. 265 c (分解))。

実施例 5 b) かよび 5 0 に配散されたようにして一般式 V の対応する微換されたテアゾリジン・ 4 - オール誘導体からつぎの実施例に示された式 1 のチアゾリン誘導体が得られる。

賽劫例 94 -

4 - (3 - ± - プテルスルフアモイル - 4 -

4 - (5 - (2 - クロロベンジルスルフアモイル) - 4 - タロロフエニル) - 5 - メテル - 2 - フエニルイミノ - 4 - チアプリン塩酸塩(m.p. 264で)。

英胞例 99

4 - (4 - クロロ - 3 - ジクロペンテルスルフアモイル - フエエル) - 3 - メテル - 2 - フエエル - イミノ - 4 - チアゾリン塩酸塩(n/p. 257t(分解))。

美施例 100

4~(5~エテルヌルフサモイル・4-クロロフエニル)・5・メテル・2・フエニルイセ ノー4・テアゾリン塩酸塩(m.p. 240~241℃ (分素))。

赛路例 101

4 - (4 - クロロー 5 - (4 - メトキシベン ジルスルフアモイル) - フエエル) - 5 - メテ

-134-

ルー 2 - フエニルイミノー 4 - チアゾリン塩酸 . 塩 (分解点 1 5 5~1 5 7 °C)。

実施例 102

4 - (4 - クロロー 5 - (3,5 - ジメチルー 1 - ピペリジルスルホニル) - フエニル] - 5 - メチルー 2 - フエニルイミノ・4 - チアブリ ン塩酸塩 (m.p. 198で)。

実施例 105

4-(4-クロロー3-スルフナモイルフエロル)-3-メテルー2-(2-メテルフエコル-イミノ)-4-チアゾリン塩酸塩(m.p. 278 に (分解))。

契如例104 4 - (4 - タロロ・5 - スルファ モイルフエニル) - 5 - メテル・ 2 - (4 - メテルフエニルイミノ) - 4 - チアゾリン臭化水果酸塩 - 4 - (4 - タロロ・5 - スルフアモイルフエ

-136-

(4 - クロロー 3 - スルフアモイルフエニル) - 5 - メチル - 4 - チアゾリン具化 水素 歌塩 (分解点 178℃)。

契約例 107

4 - (4 - タロロ - 3 - メチルスルフアモイルフエニル) - 5 - メチル - 2 - (2,5 - ジメチルフエニル - イセノ) - 4 - チアゾリン典化水素散塩 (m.p. 270° (分解下) 3。

実施例 108

4 - [4 - タロロ - 3 - [1 - ピペリジェル メルホニル] - フエニル] - 3 - メテル - 2 -フエエルイミノ - 4 - チアゾリン塩酸塩 (m.p. 187~191で)。

契施例 109

4 - (4 - クロロー 3 - (1 - ピロリジニル スルホニル) - フエニル) - 3 - メテル - 2 -フエニルイミノ - 4 - テアゾリン塩酸塩[m.p.

実施例 185 2-(2-エチルフエニル・イミノ) - 4-(4-クロロ-5-ヌルフアモイルフエニル) -5-メテル・4-チアブリン振歌塩(分解点:

ニル)・3・メテル・2・(4・メテルフエユ

ルーイセノ)-ナアゾリジン-1-オール奥化

水素酸塩 0.0 2 モル (9.89) モエダノール120

##中で2時間産焼煮券する。 窓棚まで冷却した

のちジイソプロピルエーテル 200㎡を加尤。そ

して結晶を抑別する [m.p. 265℃(分解)]。

実施例104に配敷されたようにして一般式

Vの対応する世換されたチアゾリジン・4 - オ

ール餅導体からつぎの実施例に示された式1の

ナナゾリン競導体が得られる。

特別昭56- 10180 (35)

突施炉 106

2 - (2 - エチルフエニル - イミノ) - 4 -

-136-

162で(分解))。

実施例 110

4 - 〔 4 - クロロ・3 - (1 - n - ドデンルスルファモイル) - フェニル 〕 - 3 - メテル・2 - フェニルイミノ - 4 - チアゾリン頃間塩 (n.p. 128で(分解)〕。

奥鲍伊 111

4 - (4 - クロロー 3 - スルフナモイルフェ エル) - 2 - フエニルイミノ - 3 - プロビルー 4 - チアソリン臭化水素便塩(m.p. 198℃(分 第)]。

製 施 例 112

5-Tリル・4-(4-クロロ・3-スルフ アモイルフエニル)-2-フエニルイミノ・4 -ナナソリン臭化水果散塩[m.p. 248~252 で(分解)]。

突施伤 115

-138-

5 - 郎 2 駅プチル・4 - (4 - クαα - δ - スルフアモイルフエニル) - 2 - フエニルイミノ・4 - チアゾリン臭化水染酸塩(m.p. 265~268τ (分解))。

契約例 114

4 - 〔 4 - クロロー 5 - (1 - n - ヘキシルスルフアモイル) - フエニル] - 5 - メテル - 2 - フエニルイミノ - 4 - チアゾリン塩 度塩 [m.p. 177~182で(分解)]。

突旋例 115

2 ~ (4 ~ ジエチルアミノフエニル・イミノ)
- 4 ~ (4 ~ クロロ~ 3 ~ スルフアモイルフエニル) ~ 3 ~ メテル・ 4 ~ チアゾリン塩酸塩(分解点 180で以下)。

式 I の化合物の限付加増から製鋼例 2 a、27 シェび 5 5 b) に配収されたようにして塩蒸を作 用させることにより、つぎの実施例に示された

エル) - 5 - メチル - 2 - (4 - メテルフエニ ル - イミノ) - 4 - チアゾリン (m.p. 267c)。 実施例 120

4 ~ (4 ~ クロロー 3 ~ (1 ~ ピペリジルス ルホニル) ~ フェニル) ~ 5 ~ メテル ~ 2 ~ フ エニルイミノ ~ 4 ~ チアゾリン (m.p. 189 ~ 1950)。

突筋例 121

・ 4 - (4 - クロロ - 3 - (1 - ピロリジュルスルホニル) - フエニル) - 5 - メチル - 2 - フエニルイミノ - 4 - ナアゾリン (m.p. 191 ~ 194 t)。

契約例 122

4 - (4 - タロロ - 3 - ヌルフアモイルフエニル) - 2 - フエニルイミノ - 5 - プロビル・4 - ナアゾリン (m.p. 165~170 t)。 実施例 125

特開昭56- 10180(36)

式1の塩茶性化合物が得られる。

疾始例 116

4 - (4 - クロロ - 5 - スルフアモイルフェニル) - 3,5 - ジメチル - 2 - フェニルイミノ - 4 - ナアゾリン (分常点 117 t 以下)

製 熱 例 117

4 - (4 - ブロモ - 5 - スルフアモイルフェ エル) - 2 - (4 - メトキッフエニル - イミノ) - 5 - メテル - 4 - ナアゾリン [m.p. 197 で (アルコールから))。

突施例 118

2 - (2 - エナルフエニル - イミノ) - 4 - (4 - クロロー 5 - ヌルフサモイルフエニル) - 5 ~ メテル・4 - ナアゾリン (m.p. 161 ~ 145 t)。

実施例 119

4 - (4 - クロロ・ 5 - スルフズモイルフェ

3 - 衆 2 粉 ブテル・ 4 - (4 - クロロ - 3 -スルフアモイルフエニル) - 2 - フエニルイミ ノ - 4 - チアゾリン(m.p. 80 c)。

夹起例 124

4- (3- (1-ブサルスルファモイル)4-クロロフエニル)-3-メテル-2-フェニルイミノ-4-ナアゾリン(m.p. 130~155c)。 実施的 125

4 - (5 - ジェチルスルフアモイル - 4 - 9 ロロフエニル) - 5 - メチル - 2 - フェニルイ ミノ - 4 - チアゾリン (n.p. 175~175で)。

実施例 126

4 - (4 - クロロ - 3 - スルフアモイルフェ ニル') - 3 - メチル - 2 - (3,4,5 - トリメト キシ-フエニル - イミノ) - 4 - チブゾリン (m.p. 187~189 t)。

英雄例 127

-1.2-

特閣昭56- 10180G7)

2 - (5,4 - エテレンジオキシフェニル・イ **ミノ)~4~(4-クロロ-5-スルフアモイ** ルフエニル) - 5 - メチル - 4 - チアゾリン (m.p. 247~249t).

災施例 128

4-(4-クロロー5-スルフザモイルフェ ュル) - 2 - (3,4 - メテレンジオキシフエニ ルーイミノン・5~メナル・4~ナ アゾリン (m.p. 187~189 t).

実施例 129

4-(4-クロロ・3-スルフアモイルフェ ニル.) - 2 - (4 - メトキシフエニル・イミノ) - 5 - メテル・4 - サアプリン(m.p. 210 ~

契約 4 1 5 0

4-(4-900-5-2027をイルフェ ニル) - 2 - (4 - フルオロフエニルイミノ)

4 - (4 - クロロ・ 5 - スルフアモイルフ呂 エル) - 3 - メチル - 2 - (3 - ジメチルアミ ノフエニル・イミノ)・4~チアゾリン(D.D. 154-1400).

実施例 155

4-(4-クロロ・5-スルフアモイルフエ コル)- 5 - メナル - 2 - (2,4 - ジメナルフ エニル・イミノ)・4・チアゾリン(m.p. 270 ~275%).

突施例 156

2 - (2 - エトキシー 5 - メテルフエニルー イセブ) - 4 - (4 - クロロー 5 - スルフアモ イルフエニル) - 3 - メナル - 4 - ナアゾリン (m.p. 194~1975).

» 実施例137 4 ~ (4 ~ クロロー3 ~ クロロス ルホニルフエニル) - るーメナル - 2 - フェニルイミノチアゾリジ

-146-

- 3 - メチル・ 4 - テTゾリン('m.p. 234~ 2360).

実施例 151

2 - (4-エトキシフエエル・イミノ) - 5 - メチル・4・(4・クロロ・5・スルフアモ イルフェニル) - 4 - チアゾリン(m.p. 235℃)。 雪 集 係 152

4-(4-クロロ・5-スルフナモイルフェ エル) - 5 - メナル - 2 - (3 - メナルフエニ ルーイミノ) - 4 - チアソリン (m.p. 193 ~ 194℃(メチノールから)]。

突旋例 155

2 - (5 - 9 0 0 - .2,4 - ジメトキシフェニ ルーイミノ)~4~(4-クロロー3-スルフ アモイルフエニル) - ろ・メナル・4-ナ.アゾ y ν (m.p. 204~206¢).

要始例 134 .

ソール・オール典化水常改塩

アセトン40世中2-ブロモ・ザークロロ~ ジークロロスルホエルアセトフエノン 6.6.4.9 (0.02モル)の部款に5-メチル・1-フェニ ルチオ原素の蓄散を機搾下で加えると適度に加 個したのち納品性の表題化合物が晶出する。蜜 祖でさらに 4 時間提拌し、つぎにその反応碼合 物をDCに冷却し、そして無色の結晶を炉別す る。 1) 2 2 0 c て 分 無 し 、 吾 び 園 化 す る 。 2) m.p. 264~265℃(分界)。

実施例137枚配敷されたようにして式1(た だし式中、8はハロゲンである)の対応する量 後された化合物をよび式目のテオ尿素から、た とえばつぎの式器(ただし式中、2はヘロゲン である)の化合物が得られる。

a) 4-(4-クロロー3-クロロスルホエル フェニモ) - 2 - (4 - メトキシフエニル

- イミノ) - 3 - メテルテアプリジン - 4 - オール臭化水素酸塩、

- b) 4~ (4-クロロ-5~クロロスルホニルフエニル) 5 メテル~ 2 ~ (2 メテルフエニル・イミノ) チアゾリジン 4 オール臭化水素酸塩 (m.p. 236~238℃ (分解))
- a) 4 (4 クロロ・5 クロロスルポニル) - 2 - (2 - クロロフエニル - イセノ) -5 - メナルチアゾリジン - 4 - オール臭化 水果酸塩、
- d) 4 (4 クロロー 5 クロロスルホエルフエニル) 3 メテルー2 (2,4 ジメテルフエニル イミノ) チアゾリジンー4 オール美化水銀際塩、
- 5 エナル・4・(4 クロロー 5 クロロス ルホニルフエニル) - 2 - (2 - メナルフ

特願昭56- 10180(38) エエルイミノ)- テアソリジン・4 - オー ル臭化水素酸塩。

- ま) 2 (2,4 ジェナルフェニル イミノ)
 4 (4 クロロ 5 タロロスルホエルフエニル) 3 メナルナアプリジン・4 オール泉化水素酸塩。
- g) 4 (4 クロロー 5 クロロスルホエルフエニル) 2 (4 クロロフエニル・イセノ) 5 メテルチアゾリジン 4 オール臭化水素酸塩、
- b) 4-(4-タロロー5-タロロスルホコルフエニル)-2-(4-フルオロフエニル-イミノ)-3-メナルチアゾリジン-4-オール美化水素製塩。

実施例158 4 - (4 - タ≡≡ - 8 - メテルス ルフアモイルフエエル) - 2 - (4 - メトキシフエエル - イミノ) -

3 - メチル・4 - チアゾリン塩酸 佐

4~(4~クロロ・5~クロロスルホニルフェール)・2~(4~メトキシフェニル・イミノ)・3~メチルチアゾリジン・4~オール臭化水素酸塩10.6%(00.2モル)を40%水性メチルでは20時間提供する。一部を10元に、そして収益で20時間提供する。一部を10元に、100元に特殊し、メタノール性またはエタノール性塩化水素物を留去し、エーテル、静酸エステルまたはジイソプロピルエーテルで変質物を納品化させ、そして新品を加別する [20.p. 257で(分解)、イソプロパノールから)。

突旋例 1 3 8 代記載されたようにして式算(ただし式中、 2 はヘロゲンである) の対応する数

機された化合物から対応する管準されたアミン RNR^{6R7}またはアンモニアとの反応により、たと えばつぎに配数された式」の化合物が待られる。 実施例 159

4 ~ (4 ~ クロロー 3 ~ スルフアモイルフエニル) ~ 3 ~ メテル ~ 2 ~ (4 ~ メトキシフエニル・イミノ) ~ 4 ~ チアゾリン塩酸塩 (m.p. 267で(分解))。

突施例 140

4 - (4 - クロロ・ 5 - スルフアモイルフェニル) - 5 - メチル - 2 - フェニルイミノ - 4 - チアゾリン塩酸塩 (m.p. 242c(分解)、メタノールから)。

夹施例 141

4 - (4 - クロロー 3 - ジメテルスルフサモ イルフエニル) - 3 - メテル - 2 - フエニル -イミソ - 4 - テアゾリン塩酸塩 (n.p. 228 ~

-150-

2310(分幣)]。

実施例 142

4 - (5 - p - ブチルスルファモイル・4 -クロロフエニル) - 2 - (4 - メトキシフエニル・イミノ) - 3 - メチル - 4 - チTゾリン塩 酸塩 (10 2 t 以下で分解)。

类范例 145

4~(4・タロロ・5~(1・ヘギシルスルファモイル)-フエニル 3 - 2 - (4 - メトキ・シフエニル - イセノ) - 5 - メテル - 4 - テア・ブリン塩酸塩(98c以下で分無)。

察航例 144

4 - (3 - ベンジルスルフアモイル・4 - クロロフエニル) - 2 - (4 - メトキンフエニル - イミノ) - 3 - メテル・4 - チアゾリン複像 塩(分解点 155で以下)。

実施例50亿記載されたようにして式1の塩

-151-

実施例 149

4~ (4 - タロロ・3 - ヌルフアモイルフエニル) - 2 - (4 - メトキシフエニル - イミノ)
- 3 - メチル・4 - テアゾリン塩酸塩 (m.p.
276で)。

実施例 150

4 - (4 - タロロ - 5 - ジメチルスルフアモイルフエニル) - 5 - メチル - 2 - フエニルイセノ - 4 - チアゾリンアセドスルホン最塩(m.p. 296~298で)。

突急例151 4-(4-クロロ-5-ジメテル スルフアモイルフエエル)-5-メテル-2-(2,4-ジメテルフ エニル-イミノ)-4-テアプリ ン臭化水体製塩

2 - プロモ - 4' - タロロ - 3' ~ ジメテルスルファモイル - アセトフエノン &41f(QO 1モル)

-163-

対配昭56- 10180 C39) 事性化合物に式RAのプロトン鞭を作用させることにより、さらにつぎの実施例に記載された式」の酸付加塩が得られる。

無期例 146

4 - (4 - クロロ - 3 - スルフアモイルフエエル) - 3 - メチル - 2 - (3 - トリフルオロメチルフエエル - 1 t ノ) - 4 - チアゾリン塩酸塩(n.p. 222t)。

. 安放例 147

4 - (4 - クロロ - 3 - n - プロビルスルフ アモイルフエニル) - 3 - メテル - 2 - フエニ ルイミノ - 4 - チアゾリン複数据 (m.p. 259t) 実施例 148

4 - (4-クロロ・5 - (4-メテルベンジルスルフでモイル) - フェエル 3 - 8 - メテル
- 2 - フェニルイミノ - 4 - チアゾリン雄酸塩
(m.p. 92~100で)。

-154-

を水節数 6 0 m 中 3 - メテル・ 1 - (2,4 - ジメテルフェニル) - チオ尿素 1.83 9 (0.01モル) の単数に加え、そして変態で 2 0 分間推辞する。 つぎに最か冷却勢を付して 2 0 分間推辞し、冷却し、その反応混合物に作取エステルまたはジイソプロピルエーテル 6 0 m を加え、そして結晶を炉別する (n.p. 260~264 C (分解))。

実施例152 4-(4-クロロー5-クロロス ルホニルフエニル)・5-メテル -2-フエニルイミノ-4-チア

・ゾリン典化水素聚塩

4~(4-クロロ-5-クロロスルホニルフエニル)-5-メナル-2-フエニルイミノチアプリジン-4-オール美化水素聚塩25g(50 まりモル)を前もつて220cに加熱したマントル中で実空(0.1トル)下に互張化体上で象速に加熱する。その物質は水が帯裂するために発

-384-

持期超56- 10180(40)

他して融解し、反応終了後ただちに関化して再び終品化する。表象色物品(m.p. 264 t)。

- a) 4-(4-クロロ-5-クロロスルホエルフエニル)-2-(4-メトキシフエエル -1さノ)-5-メテル-4-テアゾリン臭化水季酸塩。
- b) 4 (4 クロロ 3 クロロスルホニルフエニル) 3 メテル 2 (2 メテルフエニル イミノ) 4 チアゾリン具化水素酸塩 (n.p. 250 t (分解))。
- a) 4-(4-クロロ・3-クロロスルホエルフエニル)-2-(2-クロロフエニルーイミノ)-5-メナル-4-ナアゾリン具

--1 t 6 --

h) 4 - (4 - クロロ・ 5 - クロロスルホニルフエニル) - 2 - (4 - フルオロフエニル
- ィミノ) - 5 - メテル・ 4 - チアゾリン 美化水素酸塩。

実施例153 4-(4-クロロ・3-ジメテル スルフサモイルフエニル)・3-メチル・2-フエニルイミノ・4 -チアゾリン

40 4 水性ジメチルアミン溶散 5 ml (約0.0 5 モル) かよびメタノール(またはエタノール) 5 D ml の協合物化外部から冷却しなから操作下で 4 - (4 - タロロー 5 - クロロスルネユルフエニル) - 3 - メテルー 2 - フエユルイミノー4 - チアゾリン臭化水素酸塩 4.8 pl (0.0 1 モル)をその協反ができるだけ 5 5 でを軽えないよう 化少量すつ加える。 強領で 1 4 時間提择し、水焼臭空下で溶練を留去し、残留物に水 5 0 mlを

-- 1 5 7 --

化水素酸塩。

- d) 4 (4 クロロ 3 クロロスルホニルフェニル) 5 メテル 2 (2,4 ジメテルフエニル イモノ) 4 テアゾリン臭化水素砂塩。
- a) 3-エチル-4-(4-クロロ-5-クロロスルホエルフエエル)-2-1(2-メチルフエエルイミノ)-4-チアゾリン臭化 水素酸塩。
- ま) 2 (2,4 ジエチルフエニル イミノ) - 4 - (4 - タロロ- 5 - タロロスルホニ ルフエニル) - 5 - メチル - 4 - チアゾリ ン臭化水紫酸塩。
- g) 4 (4 タロロ 3 タロロスルホエルフエエル) 2 (4 タロロフエエル・イミノ) 3 メテル 4 テアゾリン臭 化水素酸塩。

-106-

加えて磁気的存存下で結晶化せしめる。無色観晶(n.p. 178~1810)。

実施例 1 5 3 化配散されたよう化して式其の対応する関係された化合物かよび式 BHR⁴R⁷の対応する関模されたアミンまたはアンモニアからたとえばつぎのような式 I のテアゾリン誘導体が得られる。

- a) 4 (8 ジエテルスルファモイル 4 -クロロフエニル) - 3 - メテル - 2 - フエ ニルイミノ - 4 - チアブリン
- b) 4 (4 クロロ・3 スルフアモイルフェニル) 3 メチル・2 フエニルイミノ・4 チアゾリン
- c) 3-エテル・4-(4-クロロ・3-ジメ テルスルフアモイルフエニル) - 2 - フエ エルイミノ・4 - テアゾリン
- d) 4-.(4-クロロ・3-ジメナルスルフア

..188-

モイルフエエル) - 3 - メチル - 2 - (2 - メチルフエエルイミノ) - 4 - チアゾリ

- 4 (5 ジエチルスルフアモイル 4 クロロフエユル) 5 メチル 2 (2 メチルフエエルイミノ) 4 チアゾリン
- 1) 4 (4 クロロ 5 ジメチルスルフア モイルフエニル) - 5 - メテル - 2 - (2 - クロロフエニル - イミノ) - 4 - チアゾ リン
- g) 4-(4-9ロロ-3-ジョナルスルフア モイルフエニル) - 3-メナル-2-(4 - メトキシフエユル-イミノ) - 4-チア ゾリン
- h) 4-(4-9ロロ-3-ジメチルスルフT . モイルフエニル)-3-メチル-2-(2,4

持開昭56- 10180(41) - ジメナルフエニル - イミノ) - 4 - ナア ゾリン

- 1) 4 (4 クロロ 3 ジメナルスルフア モイルブエニル) - 2 - (4 - クロロフエ ニル・イミノ) - 3 - メナル - 4 - チアゾ リン
- 1) 4 (4 クロロ 5 ジメナルスルフア モイルフエニル) - 2 - (4 - フルオロフ エニル - イミノ) - 5 - メナル - 4 - チア ゾリン

実施例154 4-(4-クロロー3-ジメナル スルフアモイルフエエル)-5-メナル-2-フエエルイミノ-4

4 - (4 - タロロ・ 8 - スルフアモイルフェニル) - 3 - メテル - 2 - フエニルイミノ - 4 - ナナゾリンまたはその塩酸塩 D O 1 モルモト -140-

ルエン 110世かよび水50 世の混合物に懸摘し、 ` そして水相を2k水酸化ナトリウムで pB 15~ 14に異節する。触様者のペンジル・トリエチ ル・アンモニウムクロリドを相間移動触媒とし て加え、そしてジメテル硫酸 0.024モルを加え たのち、この反応混合物を操作下でそしてその pH値を保持しながら80~90でに加熱するが、 その際シリカゲルの存着クロマトグラム(トル エン・酢酸エステル1:1)だおいて反応が完 船したことが示されるまで約2時間軽過するど とだそれぞれジメテル保護的11寸つ加える。 有機相を水性アンモニア解散ととらに10℃で 4時間機件して存在するジメテル硫酸を分解し、 張原ナトリウム上で乾燥し、そして溶鉄を留去 する。無色結晶 (m.p. 179~180t(氷酢酸か 6)).

美勤例 155、

4) 4 - (4 - クロロ・3 - スルフアモイルフェニル) - 3 - メテル・2 - フエニルイミノチアゾリジン・4 - オール臭化水素原塩アセトン100mmち - メテル・1 - フエニルチオ尿素1.66F(001モル)の搭散に磁気的提件下でアセトン50mm 2 - ブロモ・4'-クロロ・3'-スルフアモイルアセトフエノン513F(001モル)の搭散を加えるが、その際反応阻度が50 セを超えないようにする。重温で5時間慢件發酵品を炉削する(m.p.164年(分解)12B) 4 - (4 - クロロ・5 - スルフアモイルフェニルノミ

a) 4-(4-9ロロ-5-スルフアモイルフエニル)-5-メナル・2-フエニルイミノナアゾリジン-4-オール美化水素改塩 4.8 f(0.01モル)をメタノール70×中で0で代格

ノナアソリジン・4・オール

-16%-

持期昭56- 10180 (42)

却し、そしてトリエチルアミン3 Wを加えたの ち蜜協に 3 D 分間ないし1 時間機体する。各種 を 4 D で以下に保ちながら悪和な条件下で且つ 実空下でメタノールを包去し、残留物を水中で 3 D 分間機件し、そして粉晶を呼取する [m·p· 125~129で(分解)]。

b) 4 - (4 - クロロ・3 - クロロスルホニルフエニル) - 3 - メナル・2 - フエニルイセノテアソリジン・4 - オール具化水素酸塩5 を(0.01モル)をメタノール5 0 = および2 0 を水性アンモニア5 = の混合物に加え、そして歯盤で3時間推律する。裕復を4つで以下に保存しなが5都和な条件下で且つ実空下で複数を需去し、残留物を水中で5 0 分間提择し、そして結晶を伊取する(m.p. 126~129(分辨))。

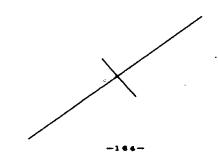
O) 4~(4~クロロ-3-スルフアモイルフ エエル)-8-メテル・2-フエエルイミ

-188-

4 - (4 - 夕 ロロ・ 5 - スルファモイルフェニル) - 5 - メテル・ 2 - フェニルイミノテアゾリジン - 4 - オール 4 f (0.0 1 モル) モアセトン、酢酸エステルまたはエーテル 1 5 0 mi 中でエーテル性塩化水泵器液を用いて酸性化し、そして皮値で 1 ~ 5 時間提择技能品を炉削する[m.p. 179 c. (分解)]。

ノテアゾリジン~4-オール塩酸塩

実施例 1 5 5 と 阿様 に してつぎの接 4 に 記載 された式 17 の 化合物 が 得られる。



			<u>,</u> .																						
		_ •	(<u>)</u>	-	257	223	247	276	239	242	130	223	223	148	107	178		125	=======================================	178	211	5	"	82	262
148	K	すると	#	ı	E	18	EBr	EBr	HB	HBr	•	EB	BB	•	ı	1	7 DH	ı	ı	KBr	ě	•	1	1	HBF
	•	# *	×	1	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	. 70	70	70	70	70	70
70 KA.	. 1 - 1	こかせしておまれる台に作	X	1	*	. Ke .	Ķ	*	Ř	, K	<u>ځ</u> ې کې	×	*	4 - K-16	e-Prop	c-Pent	. c-Pent	97-HO	Hegs-o	m ^c	Prop	ä	4-07-B	#- 4	Ħ
Prop	2 7	4 4	*	1	*	*	:	*	ş.	ž	-(CH ₂	*	*	(BD)-		to	. Á	- 1 ED	121	tes	Prop	m	缸	tt	=
4	. I	書で	*	1	m	×	Ħ		Ħ	124	, pri	(21	pp	Œ	M	m	M	E	92	120	163 .	m	ᅋ	Ħ	Œ
# H		コエア	. R		m		m		, . ¤	Ħ	æ	m	Œ	œ	Ħ	 ##		Þ	ш	. 📾	=	==	m	æ	70-5
* 4	4 (H	* *		}	•R-7	70-1	m		m .	70-7	DS.	70-8	Ħ	tu		85		,. E		×	. 3 - 8	113	m	=	7-X-0
	•	ケグロ・日本をはり	24	1	2-K•	2-Ks		2-Bt	2-Ke	2-0Me	tu:	2-Ne	+ICE;	 #	 E01	, m		133	m	3-16	2-No	•	, . M		7-Ke0
10年	γ - 1	#. o -	<u>.</u>	1	÷		ä	:	# 0#	ä	*	÷	*	;	*	*	*	*	Ķ	ä	*	*		ŝ	5
	3 2	∞ 4π	*	*	156	157	158	159	160	161	162	163	161	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	474
	But a series of the series of	Motor of Motor of Properture, But- ソナギ、Hozelteye, Bellインジャ、ユモムン・ロ	我要:Melifeを、Mtelifeで、Probープロピル。Butaにアナル、Hoxeにキアル。Belにアプチ、11イン。c=ケチロ、顕敬様I式アドニチ胞の4位氏存在してサンドーを騒然1位に、そしたスケンドも4を維は3位に始め	Bもの数型 Moーメチル、Mtーステル、Propープロピル、But-Post=ペンテル、Hox=ペナケル、BS-ベンジル、メーイン、BS-ベンテル、ロークテロ、顕微器を打フドコケ組の4位内が存むしてきり、B+ナンール最紅・位だ、そしたメクフテルイが維持3位内部もリスト Nt	的もの数数 No - メチル、Bt - X サルド、Brob - プロピル、But - ブナル Box - K フェーペンティ、1 - イン、Box - M 2 - ベンティ、1 - イン、Box - M 2 - ベンティ、1 - イン、Box - M 2 - ベンティ・1 - イン、Box - M 2 - ベンティ・ログ - ベルス - ベ	西のの数数 No - メチル、Et - X チャル、Prop - プロピル、But - ブテル Box - ボンテル、1 - イン、sok - 解 Box - ベッテル、Be - ベッジャ、1 - イン、sok - 解 Box - ベッテル、 - ケッロ (BDもの数数 No - メチル、Ste-エチル、Prop - プロピル、But - ブナル Spot = ペンテル、1 - イン、Bok - 展 2-M の - の - の - の - の - の - の - の - の - の	田中の数字 No - メチル、Et - X チル、Prop - プロピル、But - ブチル Post = ダンボ、ローズンテ、1 - イン、Bot - M Bot - ベンジャ、1 - イン、Bot - M Bot - M	Bのの数据 No - メチル、Et - スチル、Prop - プロピル、But - ブチル Bot - ボンジル、1 - イン、Bot - ボンジル、1 - イン、Bot - ボンジル、1 - イン、Bot - 画像部II ズンボニル軸の 4 位所体化してかり、その基金チェンニーを開びった。そしてスペンナモイル雑誌 3 位に指令している	Bubの数数 No - メチル、Ste-エチル、Prop - プロピル、But - ブチル Post - ダ Post - ベンジル、1 - イン、But - ブナル Bu - ベンジル、1 - イン、But - ブナー Bu - ベンジル、1 - イン、But - ブリー But - ブリー Bu	田中の数据 No - メチル、Et - エメチル、Prop - プロピル、But - ブチル Bot - ボンジル、1 - イン、Bot - 新 Bot - ベンジル、1 - イン、Bot - 新 Bot - ベンジル ・ イン を Bot - ズン - インズルン - インズルン - インズルン - インズル	B D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	BBの 2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	B D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	BBの	B D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	Bach の説明 20mm 20mm 20mm 20mm 20mm 20mm 20mm 20m	BBの	BB-0 記号 2-4 チル、 3t - エ チル、 Prop - プロピル、 But - ブラル 1 - イ ブ・ But - ブ ジャ 1	BB-D (記録) 出るーメチル、 またーエチル、 Prop = プロイル、 But = ブナル But = ブナル、 But = ブナル・ But = ブナル・ Jut	BB-0 記事 出ゥーメチル、 またーエチル、 Prop = プロイル、 But = ブナル But = ブナル、 But = ブナル、 But = ブナン アル、 1 = イン、 2 ル、 1 = イン、 3 ル を 2 を 4 と 2 を 4	BB-0 (2009) 20-メラル、 31-エラル、 Propーブロピル、 But = ブンジル、 1 ー イン、 50 x = 7 ル	Para (1997)	2歳、。 - ンチル、 35 - エチル、 Prop - プロピル、 But - ブナル	2 元 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

特際総56- 10180(43)

6.0	208	89.	419	146	169	249	233	245	206	248	表記数	07 BBr 220	236	169	255	216	96	152	10		180	145	203	231	264	233		125
M I	E	ı	1	. 1	EBr	193	HBr	æ	188	100	10 HBT 70	BBr	HB.	HBr	HBr	HBr	ľ	•	ı		70H 70	+	E	aB.	HBr	EB	BB	EB.
-1	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70 .	70	70	70	70	7	70	70 3	70		70	70	70	70	70	70	70	70
я,	Prop	#				*			ä				Prop		Ħ	Prop	Prop	70 tont-mer	97-E	H-Me	Ħ	ä	*	K.	÷	*	:	ž
•	Prop	=	*	Prop	Ø	:	:	2 .	異な	ä	*	æ	Prop	tes	ps	Prop	岡	E	-CHO	- 4H5-	M M	¥	÷	÷		÷	:	*
2		, m	Ħ	#	m	.	æ	m	₩	#	Ħ	Ħ	•	=	×	×	×	×	#		80		œ	123	=	Ħ	E 0	Ħ
	3-CE	=	CC		Ħ	tat	•	Ħ	M	=	pp pp	m	×	Д	5-86		53	\$25	128		Ħ	m	m	tes	æ	Ħ	S-MeO B	
	4-Me0		-	er .	ėα	55	ad a	3-K	120		æ	4-X•	- F	5-Xe	• π- +	1 22	Ø	=			M	Œ	=	œ	125	m	4-X•0	124
1 1	• • •				- Capper	*	70-			-4.	2-X•	2-Ke					_	m	~		Ĭ	(3)	ped	œ	Ħ	1 22	3-Me0	ш
,				٠									*					*	-		å			¥.	dorf.		2	
EK		ä	Ř					*			.#											_	198	-	•	-		
E	133	178	179	180	8	182	183	. 2	185	186	187	188	189	40	191	192	193	.5	199		4	4	1	6	20	20	202	20
.	1			-																						-1	• 0-	-
	223			261			283		275		234		208	184	256				170	124				191				247
4	6	HB.	田田	EBr			HBr		HBr		· E	ı		7 0H	H	HBr	RBr		_	ı						HBr		HB T
*	7	70	70	70		70	70		70		70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	73	70
~	*	*	å	;	<u> </u>	bz	Ħ		Ħ		Ħ		Ħ	##	œ	802	;	20	w	m	M	m	100	m	==	*	*	tat
, e		*	å	*	,	62	描		æ		w	Ħ	bet	=	Ħ		*	Œ	Ħ	M	ts	bet	bet	Ħ	Ħ	.	×	m
S A	=	53	Ħ	- 20		M O	×		Ħ	٠.	Œ	Ħ	CO	æ	m	133	#	ದ	Ħ	Ħ	Ħ		Ħ	m	Ħ	缸	=	Ħ
~	m	S-16	ta		ı	- K		;	Ħ		20		×	DQ	Í	m	m	m	æ	, ps	PA	123	æ	6 2	m	Œ	m	æ
;; en ex		70-7	3B+-0	•	(CH2)2	0 M - 4		280		((4))	ixi	5	İ	Œ	Ħ	ts	=	3-K	te	E	M	#	Ħ	4-Ke0	·	.	Ħ	tat
#	4-0-4	2-07	3.4-0-6	0-7	;	3-Ke0	0-1-1	,	3.4-0	:	3-07s H	3-CP 5	3-07	4-K	7-7	4-210	0 · M - P	2-Ke	2-Bt	2-Bt	2-31	4-K90	0 0 H - T	2-X•	4-K	m	ma)	70-2
E	:	,	. ,	;	i	. 5		}	×			.	*	÷	*	ş	;	÷	ş.	*	:	;	;	*	*	*	*	
	204	20.5	206	20.	•	20B	200		210	i'	211	212	213	21.1	215	216.	217	218	219	270	221	222	223	224	225	229	222	228

-675-

B B										-	22	, R	·	m	•	7.E	•	4	8.p.*1)	
	_	**	*	m,	H	HA	B.p. + 1)	~			22	Ħ	E	E	Prop	Prop	70	Br	201	
B	ì	•	.	.	1	1	E	~	30	ŝ	Ħ	p:	223	m	Prop	Prop	70	•	117	
		۹ (= 1	at (70	708	64	~	31	;	70-2	E	單		Prop	Prop	70	EBr	227	
H		T	1 21	ia)	70		126	7	32	*	70-2	æ	===		Prop	Prop	70	ı	126	
Me H OL RBr 145 254 Me 4-024 H Rt H OL RBr 144 235 Me 4-027 H R H O-Near OL - 94 235 Me 4-027 R R H O-Near OL - 109 235 Me 4-027 R R H O-Near OL - 94 235 Me 4-027 R R H O-Near OL H A-027 Me A-027 R A-027 R A-027 R B		p	Þ	Ħ	Ä	HBL	162	7	53	ž	70-1	=	tel	#	5 03	620		HBT	168	
Het Het CL RBP 144 235 He 4-HBP R 8-HBP R 4-HBP R 8-HBP R 4-HBP R 8-HBP R		å	5 1	14	70	ED	145	•	34	*	70-1	m	=	W	DE	m	70	•	228	
H H C C-Pent C C		ä	E	æ	70	ED.	144		80	•	4-18.Ec	(121		##	Ħ		RBT	172	
B 0 - He x 0 L - 10B 237 Me 2-Me B T J M 0 L - 87 239 Me B B T J M 0 L - 143 240 Me B B Me - 2 - 3 m 240 Me B B B B Me - 30 - 69 241 Me B B Me 0 L - 73 241 Me B B B 0 L - 73 241 Me B B B 0 L - 73 242 Me B B B B 177 244 Me 2-Me B B B B 177 244 Me 2-Me B B B B B 149 244 Me 2-Me B B B B B B B C B		=	=	o-Pent	70	•	76					: 0		· 6				1		
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		cc	==	10H-0	70	1	108	•		;		, a .	a t	4 1	4 :	4 2	3 7	;	<u> </u>	
H H H T T T T T T T T T T T T T T T T T		Ħ	æ	G-Hex	70	70H			<u>`</u>	.	•	8 - C	z ; (u 1	9	• ,	3		3 5	
No.	缸	100	717	70	ı	87	. •	8	:	며	m	=	ш	-(0H2)s-	-5(70	,	<u> </u>		
R R B C C C C C C C C C		523		X-8-0	75	ı	483		339	ů,	ps:	œ	œ	ш	-(OB2)4-		70		110	
Hare		20		,	70	ı	. 22		D 7	,	œ	ps.	14	Ħ	m	*4%	70	ı	(# 45 (#)	
H 1, + (Ma) 0.4 - 74 245 Me H H H -2cd-3e Cd -3e - 77 243 Me 2-Me H Prop Prop Cd -3e 177 244 Me 2-Me H Prop Prop Cd -3e 177 244 Me 2-Me H Prop Gd -3e 177 245 Me 2-Me H Prop Gd -3e 242 245 Me 2-Me H H Gd -3e 242 Me 2-Me 3-CL H H Gd -3e 242 Me 2-Me 3-CL H H Gd -3e 174 250 Me 2-Me H H H Cd -3e 174 Me 2-Me H H H H H H H H H H H H H H		æ	ä	a de	70	ı	69		2	ķ	m	ta	m	241	But	, pc q	70	1	120	
H H 2-62-ba GL - 77 244 Me 2-Me H Prop Br 177 244 Me 2-Me H Prop GL Bbr 177 244 Me 2-Me H Prop GL Bbr 149 245 Me 2-Me H H GL Bbr 242 245 Me 2-Me H H GL Bbr 242 246 Me 4-1-Prop H H GL Bbr 246 Me 2-Me 2-Me H H GL Bbr 244 Me 4-1-Prop 2-Me H H GL Bbr 244 Me 2-Me 2-Me H Me GL Bbr 244 Me 2-Me 3-GP H Me GL Bbr 242 Me 254 Me 3-GP <th></th> <td>ш</td> <td>ta:</td> <td>2,4-(Mao),</td> <td>70</td> <td>t</td> <td>74</td> <th></th> <td>242</td> <td>.</td> <td>Ħ</td> <td>Œ</td> <td>m</td> <td>æ</td> <td>m</td> <td>M •</td> <td>70</td> <td>,</td> <td>(ARCKAR)</td> <td></td>		ш	ta:	2,4-(Mao),	70	t	74		242	.	Ħ	Œ	m	æ	m	M •	70	,	(ARCKAR)	
H Prop L HBP 177 244 Me 2-Me H Prop CL HBP 206 245 Me 2-Me H H S CL HBP 206 Me 2-Me H H S CL HBP 242 Me 2-Me H H S CL HBP 242 Me 2-Me 2-Me H H G HBP 242 Me 2-Me 2-LPPOD 3-CL H H G HBP 214 Me 2-LPPOD 3-CL 3-CL H H G HBP 214 Me 2-Me 3-Me 3-CB H H H M M Me 2-Me 3-CB 3-CP H H H H M M M 3-CB 3-CB H H H M M		×	₩	2-CC-Be	70	1	"	.4	243	3	2-20	3-Ke	Ħ	m	E	Ħ	70	HDr	189	
H Prop Prop GL HBP 206 RB 246 Me 2-Me H H A BB 149 246 Me 2-Me H H BB 242 247 Me 3-U4 H H BB 260 246 Me 4-1-Prop H Me C BB 246 Me 2-O4 H H C BB 174 Me 2-Me H H C BB 174 Me 4-B H H Me 0.2 BB 269 Me 4-B H Me Me 0.2 BB 264 Me 3-CPs H Me Me 0.2 BB 242 Me 3-GPs H Me Me 0.2 BB 242 Me 3-GPs H Me Me Me 3-GP		ш	Ħ	-	Ä	BBr	177		7 7 7	*	2-Ks	3-Xe	m	20	ш	ф	70	ì	110	
H H		=	Prop	Prop	70	18B	204		545	*	2-No	3-16	m	=	po .	÷	70	101	237	
B B B C BB 242 647 Ke 5-04 B B C BB 260 246 Ke 4-1-Proposition B Me C BB 214 250 Ke 2-02 B B C BB 174 251 Ke 2-460 B B C BB 174 251 Ke 4-B40 B B C BB 174 252 Ke 4-B40 B B C BB 244 253 Ke 3-CP3 B B C BB 242 1 254 Ke 3-CP3 B B B C B B C B B B B B B B B B B B B B B B B B B B B		#	#	M	70	HB	119		546	ŝ	2-X•	ш	•	R	m	s ok. But	70	HBr	252	
Harmon H		M	Ħ	×	70	HBL	242		247	:	3-04	四	×	CC 3	DD	tes	70	708	205	
No. No. No. C. RDr 214 C. 249 No. 2-02 C. R R C ROL 164 C. C. No. 2-No. R R C RDr 174 C. C. No. 2-No. R No. No. C. RDr 269 C. C. C. R No. No. C. RDr 244 C. C. C. R No. No. C. RDr 242 C. C. C. C. R No. No. C. RDr 242 C. C. C. R Rol Rol C. Rol C. C. C. R Rol Rol C. Rol C. C. C. R Rol Rol C. Rol C. C. R Rol Rol C. Rol C. C. R Rol Rol C. Rol C. Rol C. R Rol Rol C. Rol C. Rol C. R Rol Rol C. Rol C. Rol C. R Rol Rol Rol C. Rol C. Rol C. R Rol Rol Rol C. Rol C. Rol C. R Rol Rol Rol Rol C. Rol Rol C. R Rol Rol Rol Rol Rol Rol Rol Rol R Rol R Rol Ro		Œ	m	æ	70	RBr	260	••	248	s x	+1-Prop	Æ	m	曲	缸	(M	70	708	270	
H H E e-Pent 02 H64 250 Me 2-Me0 2 Me 2-Me0 B H		æ	, X	ŝ	70	RBr	214	``	249	*	70-2	m	m	Ħ	¤	m	70	70E	186	
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		Ħ	뻗	e-Pent	70	30E	164	,,	. 052	*	2-Ne0	œ	m	pu	m	p#	70	70H	247	
H Me Me C4 HBr 269 252 Me 2-MeO G2 HBr 269 253 Me 3-OFB HB Me C4 HBr 244 253 Me 3-OFB HB HB Me C4 HBr 242 1 254 Me 3-OFB HB		=	m	M	70	RBr	17.6		251	*	4-810	133	m	Ħ	(25)	tat	70	70B	39 A	
H Me Me C2 HBr 244 255 Me 3-OPs H Me Me C2 HBr 242 1 254 Me 3-CPs ド内部点する。 1 256 Rt H		ps	ŝ	K	70	HBr	269	•	252	;	2-No0	70	tra	pri	œ	m	70	70H	20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 2	
No CL HBT 242 254 Me 3-CF3 254 Me 2-CF3 E E 255 Rt E 256 Rt H	*	=	;	*	70	IBr	244		253	, K		52	m	×	m	22	Ä	HBr	215	_
9 255 Bt H — 256 At H		#	;	*	70	HBT	242		254	.	3-CF3	ᇤ	w;	×	œ	×	H	1	101 Z	
256 At B	j	· 1	,						255	B,	Ħ	¤		Ħ	127	×	70	BBr	249	
	ī. E	7.	4					·** -	526	ät	四	, m	m	p 0	m	p 2	70	r	155	<i>(4 8</i>)

*1) 上記の化会物の大部分は分解下に数点する。

-676-

268

267

265

257 257 258 259 260 261 262 262

270 Me 271 Me 272 Me 273 Prop

Allyl

274

27.6

持期昭56- 10180 (45)

実施例2 8 2 4 - (4 - クロロ・ミ・ジメチルスルフアモイルフエニル) - 5 -メチル - 2 - フェニルイミノ・4 - チアゾリン

a) 5-メナル・4-オキソ・2・フエニルイ ミノナアゾリジン臭化水製酸塩

プロモ酢酸エチルエステル 1 0 9 かよび 1 - メチル・3 - フェニルテオ尿素 9.95 9 モアセトン 150 m 中で還統冷却器を付して 1 時間象沸する。冷却し、結晶を炉削し、そしてアセトンで洗浄する (m.p. 212~215 t.)。

b) 5 - メチル・4 - オキソ・2 - フェニルイ ミノテアゾリジン

3-メテル・4・オ中ソ・2-フェニルイミ ノナアゾリジン美化水素酸塩 4 タモエタノール 100mtに懸摘し、そしてトリエテルアミン 8.4 タを加える。 得られた密散を重像で 5 時間接件

-170-

流し、そして研修マグネンウム上で乾燥する。 乾燥剤を伊潟したのち氷酢酸 6 0 世を加え、2 時間加熱して沸騰せしめ、溶薬を留去し、幾留 物をクロロホルム 5 世に密解したのち酢栗エス アルノトルエン 1 : 1 の混合物を用いてシリカ ゲルのカラムでクロマトグラフィーを行なり。 結晶 (m.p. 177~179℃)。

実施例285 4-(4-クロロ・3-ジメデル スルフアモイルフエニル) - 5-メチル・2-フェニルイミノ・4 - チアゾリン

6) ドーメテル・ピーフエニルカルポジイミド クロロホルム 8 世中ドーメテル・ピーフエニ ルクロロホルム T ミジン塩酸塩 2.0 5 F の監視物 を 1 0~1 2 でで 2 0 多可性ソーダ格板 6 F 化加 える。との混合物を 1 0 分間機件し、有機相を 分載し、水相をさらに 2 回 9 ロロホルムで抽出 し、エタノールを育去し、残留物に水を加え、 酢酸エステルで数回抽出し、そして有機相を確 酸ナトリウム上で乾燥袋溶媒を留去する。黄色 の粘稠な油状物。

a) 4 - (4 - クロロ - 5 - ジメテルスルフア モイルフエニル) - 5 - メテル - 2 - フエ ニルイミノ - 4 - テアゾリン

無水テトラヒドロフラン40世中5 - プロモー2 - クロロペンゼン・ジメテルスルホンでまド5 9 のアルゴン下 - 7 8 でで模字された密教にペンタン中の第 5 級ブテルリテウム 2 0 2 1 リモルを 1 0 分以内で加える。この溶液を - 7 8 ででわら 0 分間保持し、つぎに 3 - メテル・4 - オキソ・2 - フェニルイミノテアゾリン 2 9 を加え、そしてその反応混合物を縮準で一夜接件する。 熱和塩化アンモニウム器 液 1 6 型に注ぎ、タロロホルムで数回抽出し、合した有機相を水

-171-

し、そして合した有機相を故服カリウム上で乾 無する。乾燥剤を炉透したのちカルポジィミド を早離することなくその溶液をさらに反応させ

b) 4 - (4 - タロロ - 5 - ジメテルスルファ モイルフエエル) - 5 - メテル - 2 - フエ エレイオノ - 4 - チアイリン

4)で製造された悪散をクロロホルム 5 5 が中 ボークロロー ジージメテルスルファモイルアセ トフエノンー 2 ー テオール 2.8 9 の酸素を排除 して提择された器能に加え、窓亀で 2 時間機件 し、そして環境冷却器を付してさらに 4 時間 様する。クロロホルムを留去したのち残智物を 水酢酸 2.5 が中で 5.0 分間無株し、器族を留去 し、残留物を前配実施例 2.8 2.0)に配数されたを うにして酢酸エステル/トルエン (1:1)を溶 出剤として使用してシリカゲルのカラムクロマ

-178-

トグラフィーに付す。 表表色的品(m.p. 177~180で)。

実施例284 4-(4-タロロ-5-ジメチル スルフアモイルフエエル)-3-メチル-2-フエエルイミノ-4 -チアゾリン

. a) H-メチル・ギーフエエル-タロロホルム フミジン塩酸塩

ホスゲン 6.5 9 を無水テトラヒドロフラン40 MI 化 底載で導入したのち提押下で 1 - メテル・3 - フェニルテオ尿素 8 9 を加えると、その軽 物 切 ただちに 黄色に 変化する。 ジメテルホルム アミド 0.5 MI を加えたのち 窓 徳 で 2 0 時間 後 拝し、つぎに ホスゲンを 遠い出すためにその 反 応 係合物に 資素 を 3 0 分間 導入し、 結晶を 严 別し、そして テトラヒドロフランで 免 テ 5 の . p. 169 c(分解))。

-176-

カゲル、終出剤酢酸エステル/トルエン 1:1) に付す。無色結晶(m.p. 178~180℃、エタノ ール/酢酸エステルから)。

実施例285 4-(4-クロロ・5・メルフア モイルフエエル)・3・メテル・ 2-フエニルイモノ・4・チアゾ リジン

a) 2 - プロモ - 1 - (4 - クロロ - 5 - スル フアモイルフェニル) - エタノール

テトラヒドロフラン20 W中 2 - ブロモーギークロロー 3'- スルフアモイルアセトフエノン 5.1 まかよび水性メチルオレンジ溶液 1 wlの水冷された密放に慢搾下でシアノ硼水素化ナトリウム 0.9 4 9 を加え、つぎに水酢駅かよび2 3 塩酸 1:1 の混合物を痛加することにより迅速にpu 5 ~ 4 に関節し(指示薬は痰炎する)、つぎに上記の製混合物をしばしば精加することにより

排開昭56- 10180(46)

b) 4 - (4 - タロロ - 3 - ジメテルスルフT モイルフエニル) - 3 - メテル - 2 - フエ ニルイミノ - 4 - テアゾリン

イソプロパノール 5 0 転中 ギークロロ・ 5・ジメテルスルフ アモイル アセトフェノン・ 2・チオール 3 9 かよび K・メテル・ビニフ エニル・クロロホルム アミジン塩酸塩 2 1 9 の 3 合物 に 優気を排除して外部から 冷却しながら イソプロパノール 1 0 配中トリエテルアミン 2 9 の形をできる 0 分間かけて譲加するが、その所及応復変を 10~15 でに保持する。

クロロホルム 5 0 m を加えたのち重風で一夜 機拌し、そして水酢酸 2 0 m を加えたのち遺焼 冷却器を付して 1 時間煮沸する。 減圧下で溶除 を包会し、残留物をクロロホルム 1 0 m にとり、 有機相を水洗し、そして硫酸マグネシウム上で 乾燥をこれをカラムクロマトグラフィー (シリ

... -175-

その知を維持する。約1時間半後には毎月クロマトグラム(シリカゲルブレート、メルク社製、 務出剤として酢酸エステルを使用)にかいても はや出発物質は認められない。水 3 D D m に住ぎ、 会塩で飽和し、そして酢酸エステルで数回抽出 する。合した有機相を水洗し、そして硫酸ナト リウム上で乾燥したのち函転蒸発器で機能する。 無色初品(n.p. 1 4 5 T (分解))。

b) 8 - [2 - (4 - クロロ - 5 - スルフアモ イルフエニル) - 2 - ヒドロキシエチル) - H - メチル - H - フエエルイソチウロニ ウム - プロミド

2 - プロモ・1 - (4 - クロロ・5 - スルフフモイルフェニル) - エタノール 1.6 9 モアセトン 5 0 単中 1 - メテル・5 - フェニルチオ尿素 0.8 9 の格徴に加える。 遊覧で 4 8 時間提择したのも格象を被圧下で収去し、そして接着物

A) -177-

をジィソプロピルエーナル下で新品化せしめる。 食色固体分(p.p. 115で(分解))。

a) 4 - (4 - クロロ - 5 - スルフアモイルフ エニル) - 5 - メテル - 2 - フエニルイミ ノ - 4 - チアゾリン

-178-

分として使用するととにより待られる。 無色的 あ (m.p. 160c(分解))。

事務例 1 a) に記載されたようにして式 I (ただし式中、 X は培養されたようにして変なし、そして Z は NR 4R 7 を意味する) の対応する置換されたナトンからつぎの実施例に示された式 I のチアゾリンが得られる。

疾動例 288

4 - (4 - フルオロ・3 - スルフナモイルフェニル) - 5 - メテル・2 - フエニルイミノ・4 - テアゾリン臭化水素散塩(n.p. 281で (分解) J。

実施例 289

5-メテル・4-(4-メテル・5-スルフ アモイルフエニル)-2-フエニルイミノ・4 -チアゾリン塩酸塩 [m·p·268で(分解)]。 実施例 290

--180-

接頭的56~ 10180(47) 出剤酢酸エステル)を示す(ロ.p. 168~171で2 実施例286 4-(4-クロロー 5- リーメテル・リー・リーンクロヘキンルスルフサセイルフエユル)・5-メテル・2-フエエルイミノ・4-テアゾリン

上配の表面化合物は実施例1 5 8 化配数されたようにして H - メテル・ H - レクロ へキンルアミンをアミン成分として使用することにより得られる。無色結晶(m.p. 180~181c)。
実施例287 4 - (4 - クロロ - 5 - (1 - メテル・ 4 - ピペラジェルスルホコル) - フェニル) - 5 - メテル・ 2 - フェニルイミノ・4 - テアゾリン

上記の表現化合物は実施例 1 5 8 代記載されたよう化してヨーメテルピペラジンをアミン成

-170-

5 - メテル・4 - (3 - ジメテルスルフアモイルフエニル) - 2 - フエニルイミノ・4 - テアゾリン臭化水素酸塩 (m.p. 254 t (分解))。 実施例 291

2-(4-メトキシフエニル-イセノ)-5
-メテル-4-(5-ジメテルスルフアモイルフエニル)-4-チアゾリン臭化水素酸塩(n.p.
254℃(分解))。

実施例 292

4 - (4 - 夕 a a - 3 - ジメテルスルファモイルフェニル) - 2 - (3 - トリフルオロメテルフェニル - イミノ) - 3 - メテル - 4 - テアソリン臭化水素酸塩 (m.p. 242t)。

装起例 ⋅ 295

4 - (4 - クロロ - 5 - メテルスルフアモイルフェニル) - 3 - メチル - 2 - フェニルイミノ - 4 - チアゾリン臭化水素酸塩 (m.p. 269t)

-181-

16間超56- 10180 (48)

拠館例 294

5-Tリル-4-(4-グロロー 5-ジメテ・ルスルフブモイルフエニル)-2-フエニルイ t_ノ-4-テアゾリン臭化水素酸塩[m.p. 207 で (分解))

実旅例 295

4 - (4 - クロロ・3 - スルフナモイルフエニル) - 3 - ジタロペンチル - 2 - フエニルイミノ - 4 - チアゾリン美化水素酸塩(n.p. 256t)。 実施例 296

4 - (4 - タロロ - 5 - ヌルフアモイルフエニル) - 5 - シタロオタテル - 2 - フェニルイミノ - 4 - チアゾリン 臭化水素酸塩(n.p. 217c) 実物例 297

3 - メナル - 4 - (4 - メナル - 3 - ジメナルスルファモイルフエエル) - 2 - フエエルイミノ - 4 - ナアゾリン臭化水素酸塩(mp. 226t)。

-188-

化合物が得られる。

実施例 **3** D 1

5 - メチル - 4 - (3 - ジメチルスルフアモ イルフエニル) - 2 - フエニルイミノ - 4 - チアゾリン (m.p. 254 t)。

実施例 302

2 - (4 - 1 トキンフエエルイミノ) - 8 -1 テル - 4 - (5 - ジメテルスルフアモイルフ エニル) - 4 - チアゾリン (m.p. 254c)。

突施例 505

4 - (4 - 9 ロロ - 3 - ジメテルスルフアモ イルフェニル) - 5 - メテル - 2 - (3 - トリ フルオロメチルフエニル - イミノ) - 4 - チア ゾリン (m.p. 226c)。

突飾例 504

4 - (4 - クロロ - 3 - メテルスルフアモイ ルフエニル) - 3 - メテル - 2 - フエニルイモ

-1.84-

水素酸塩 (m.p. 186℃)。

2-(2-タロロフエエル-イミノ) - 5-メチル-4-(4-メチル-5-ジメチルスルファエル) - 4-チアゾリン臭化水米酸塩(n.p. 218t)。

2-(4-メトキジフエニル・イセノ)-5

- メチル・4~(4~メチル・3~ジノナルス

ルフアモイルフエニル)-4・チアゾリン夫化

祭施例 300

美始例 299

突流例 298

3-エテル・4-(4-メテル・3-ジメテ ルスルフアモイルフエコル)-2-フエエルイ ミノ・4-テアゾリン臭化水素酸塩(m.p. 225で) 実施例 2a). 27 および 35 b) に記載されたよ りにして式 1 の化合物の酸付加塩から塩素の作 用によりつぎの実施例に示された式 1 の塩基性

-1 B 5 -

2.3

ノー 4 - チアゾリン (m.p. 274で)。

実施例 505

2 - (4 - ブロモフエエルイミノ) - 4 - (4 - タロロ - 5 - ジメナルヌルフアモイルフエニル) ~ 3 - メナル - 4 - ナアゾリン (m.p. 185 ~ 188 c)。

突施們 506

2 - (2 - プロモフエエルイミノ) - 4 - (4 - タロロ - 5 - ジメナルスルフアモイルフエニ ル) - 5 - メナル - 4 - ナアゾリン(m.p. 155c)

突施例 507

3 - メチル - 4 - (4 - メチル - 3 - ジメチルスルフサモイルフエニル) - 2 - フエニルイミノ - 4 - チアゾリン (n.p. 17.5 t)。

実施例 308

2 - (4 - メトキシフエニル - イミノ) - 3 - メナル - 4 - (4 - メナル - 3 - ジメナルス

-185-

ルフアモイルフエニル) - 4 - ナブゾリン(m.p. 「180℃)。

実施例 509

__ 2 - (4 - クロロフエエル・イミノ) - 5 -メナル - 4 - (4 - メナル - 5 - ジメテルスル ファモイルフエニル) - 4 - チアゾリン(H.p. 1725)

実施例 510

8 - エテル・4 - (4 - メテル・8 - ジメテルスルフアモイルフエニル) - 2 - フエニルイミノ・4 - テアゾリン (B.p. 175c)。

実施例 511

4 - (4 - クロロ - 3 - ジメテルスルフアモ イルフエニル) - 3 - メテル - 2 - (2,6 - ジ メテルフエニル - イセノ) - 4 - サアゾリン (m.p. 180で)。

煤 (m.p. 269で)。

実施例 315

5 - メテル - 4 - (2 - メテル - 5 - ジメテルスルフアモイルフェニル) - 2 - フェニルイ ミノ - 4 - テTゾリン共化水素酸塩 [n.p. 256で(分解)]。

实施例 516

5 - メチル - 4 - (3 - メチル - 5 - ジメチルスルフでモイルフエニル) - 2 - フエニルイミノ - 4 - チアゾリン臭化水素酸塩(m.p. 205 t (分解))。

突熱例 517

2 - (2 - クロロフエニルイミノ) - 3 - メ チル・4 - (2 - メテル・5 - ジメテルスルフ アモイルフエニル) - 4 - テアプリン臭化水素 酸塩 [m.p. 254で(分解)]。

実施例 518

-188-

特別的56-10180(49) 使後されたチアゾリジン-4-オール酵等体 № からつぎの実施例に示された式1のチアゾリン 誘導体が初られる。

與超例 512

4 - (4 - クロロ - 3 - ジメチルスルフ丁モイルフエエル) - 3 - メチル - 2 - (2,6 - ジメチルフエエルイミノ) - 4 - チアゾリン共化水素酸塩(m.p. 249℃)。

実施例 515

2 - (2 - プロモフエエルイミノ)-4-(4 - タロロ・3 - ジメチルスルフアモイルフエエル) - 3 - メチル・4 - チアゾリン美化水準駅塩(n.p. 245t)。

突落例 514

2 - (4 - プロモフエエルイ(ノ) - 4 - (4 - クロロ - 5 - ジメナルスルフアモイルフエニ ル) - 8 - メナル - 4 - ナアゾリン臭化水素酸

-187-

2 - (4 - メトキシフエエルイミノ) - 3 -メナル - 4 - (5 - メテル - 5 - ジメナルスル ファモイルフエニル) - 4 - ナアゾリン臭化水 紫酸塩 [m.p. 247 t (分解)]。

実施例 319

2 - (4 - イソプロピルフエニル・イミノ)
- 3 - メテル - 4 - (3 - メテル - 5 - ジメテルスルフサモイルフエニル) - 4 - テアゾリン 臭化水素酸塩 (n.p. 224で(分解))。

実施例 520

2 - (4 - クロロフエエル・イミノ) - 5 -メチル - 4 - (5 - メチル - 5 - ジメテルスル フフモイルフエニル) - 4 - チアゾリン美化水 景陵塩 (m.p. 212c(分解))。

夹箱例 521

2 - (4 - フルオロフエニル - イミノ) - 5 - メチル - 4 - (2 - メチル - 5 - ジメテルス

-185-

14開館56- 1018050

ルフアモイルフェニル) - 4 - テアゾリン臭化 水倉散塩 [m.p. 225℃(分解)]。

突施例 322

3-メテル-2-(2-メテルフエエル-イ ミノ)-4-(2-メテル-5-ジメテルスル ファモイルフエユル)-4-テアプリン臭化水 果像塩(m.p. 265c(分解))。

突施例 323

2 - (4 - フルオロフエニル - イモノ) - 3 - メテル - 4 - (5 - メテル - 5 - ジメテルス ルフアモイルフエニル) - 4 - ナアゾリン長化 水果改塩 [m.p. 222で(分祭))。

実施例 524.

5 - メナル - 2 - (2 - メナルフエニル - イ ミノ) - 4 - (3 - メテル - 5 - ジメテルスル ファモイルフエニル) - 4 - テアゾリン良化水 供取塩(m.p. 207で(分解))。

-190-

ルスルファモイルフェニル) - 2 - フェニルイミノ - 4 - チァゾリン 具化 水素酸塩(a.p. 250 t (分解))。

突 施 例 529

5 - メチル - 4 - (2 - メチル - 5 - メルフアモイルフエニル) - 2 - フエニルイミノ - 4 - ナアゾリン臭化水素酸塩(m.p. 220で(分界))。 実施例 530

2 - (2 - タロロフエエル・イミノ) - 3 - · メナル - 4 - (2 - メナル - 5 - スルフアモイ ルフエエル) - 4 - チアゾリン良化 水景 便塩 (m.p. 195c(分解))。

突施伊 331

5 - メチルー 4 - (5 - メチルー 5 - スルフ アモイルフエエル) - 2 - フエエルイミノー 4 - チアゾリン 奥化水素器塩[n.p. 280で(分辨)]。 実施例 552

-1:2-

赛施例 525

2 - (2 - クロロフエエル - イミノ) - 4 - (2 - タロロ - 5 - ジメナルスルフアモイルフエエル) - 5 - メナル - 4 - ナアブリン臭化水素酸 塩 (p.p. 227 t (分解))。

実施例 526

2~(2~クロロフエエルイミノ)-4-(5 - クロロ-5-ジメナルスルフアモイルフエエル)-5-メナル-4-ナアゾリン臭化水素酸塩(n.p. 242で(分解))。

製煎例 327

美趙例 528

2 - (4 - クロロフエニル・イミノ) - 3 -メテル - 4 - (3 - メテル - 5 - スルフアモイ ルフエニル) - 4 - テアゾリン真化 水素 酸塩 (n.p. 257t(分解)]。

実施例 555

2 - (4 - イソプロピルフエニル - イミノ)
- 5 - メテル - 4 - (5 - メテル - 5 - スルフ
アモイルフエニル) - 4 - テアゾリン美化水素
酸塩 (m.p. 256t (分幣))。

疾施例 55.4

2 - (4 - メトキシフエニル - イミノ) - 3 - メチル - 4 - (2 - メチル - 5 - スルフブモイルフエニル) - 4 - チアゾリン夹化水素酸塩(m.p. 170c(分解))。

突旋例 535

4 - (2 - クロロッち - ジメテルスルファモ イルフエニル) - 2 - (4 - メトキンフエニル

-195-

イミノ) - 5 - メテル - 4 - テアゾリン臭化水 素要塩 (m.p. 249℃)。

突起例 556

4 - (2 - クロロ・5 - ジメチルスルファモイルフエニル) - 5 - メチル・2 - (4 - メチルフエニル・イセノ) - 4 - チアゾリン臭化水素酸塩(m.p. 205で)。

製箱例 537

4 - (2 - タロロ - 5 - スルフアモイルフェニル) - 3 - メチル - 2 - ブエニルイセノ - 4 - チアブリン長化水素酸塩 [m.p. 276 t(分解)]。 実施例 358

2 - 〈2 - クロロフエエル・イミノ〉 - 4 -(2 - クロロ - 5 - スルフアモイルフエエル) - 8 - メテル・4 - テアゾラン臭化水素酸塩 [m.p. 254t(分解)]。

突角例 539

-104--

(分常))。

実施例 545

2 - (2 - クロロフエエル - イミノ) - 4 -(2 - クロロ - 5 - メテルスルフアモイルフエエル) - 5 - メテル - 4 - チアゾリン臭化水素 徴収(m.p. 257c(分解))。

突施例 344

5 - エテル・4 - (2 ~ クロロ・5 ~ メテル スルフアモイルフエエル) - 2 - フエエルイミ ノ - 4 - チアゾリン典化水素酸塩 [m.p. 256℃ (分解))。

突放例 545

4 - (2 - クロロー 5 - メテルスルフアモイルフエエル) - 2 - (8 - トリフルオロメチルフエニル - イミノ) - 3 - メテル - 4 - テアゾリン臭化水素酸塩 (m.p. 2.08で(分解))。

突施例 546

-100-

特開明56~ 1018051) ・ 5 ~ エテル・ 4 ~ (2 ~ クロロー 5 ~ エルフ アモイルフェニル・ 2 ~ プエニルイミノー 4 ~ チアプリン奏化水果 関塩 (x.p. 2572(分解))。

突施例 540

4 - (2 - クロロ・5 - スルフアモイルフエニル) - 2 - (5 - トリフルオロメテルフエニル - 1ミノ) - 5 - メテル - 4 - チアプリン共化水果酸塩 (n.p. 268t)。

突 旅例 541

4~(2-タロロ~5-スルフアモイルフェ エル)-2-(4-メトキシフエエル-イミノ) -5-メテル-4-チアゾリン臭化水素酸塩 (m·p·267c(分解))。

実施例 542

4 - (½ - タロロ - 3 - メテルスルファモイルフエニル) - 3 - メテル - 2 - フエニルイミノ - 4 - チアゾリン央化水果改塩 (m.p. 270℃

-195-

, in

4~(2-クロロー 5 - メチルスルフアモイ ルフエニル) - 2 - (4 - メトキシフエニルイ ミノ) - 3 - メチル~4 - チアゾリン臭化水素 駅塩 (m.p. 257 c(分無))。

寒煎碗 547

4 ~ (2 - プロモ - 5 - ジメテルスルフアモイルフエニル) - 5 - メテル - 2 - フエニルイ オノ - 4 - チアゾリン臭化水素関塩(m.p. 2 2 5 ~227で(分解))。

実施例 548

4 - (2 - プロモ・ 5 - ジメテルスルフアモイルフエニル) - 2 - (2 - クロロフエニルイモノ) - 5 - メテル - 4 - チアプリン美化水素酸塩 (m.p. 227 c)。

実施例 549

4 - (2 - プロモ - 5 - ジメナルスルフアモ イルフエエル) - 8 - メナル - 2 - (2.4 - ジ

-197-

メチルフエニル・イミノ)・4・チアゾリン具 化水素酸塩(m.p. 227~228で(分解))。 実施例 350

5 - エナル・4 - (2 - プロモ・5 - ジメテルスルフアモイルフエニル) - 2 - (2 - メテルフエニルイモノ) - 4 - ナアブリン臭化水素 酸塩(m.p. 205~208亡(分解))。

式 I の化合物の対応する酸付加塩から実施例 2 m、27 かよび 5 5 b に配数されたようにして 塩素を作用させることにより、つぎの実施例に 配数された式 I の塩素性化合物が得られる。

突抛倒 351

5 - メチル - 4 - (2 - メチル - 5 - ジメチルスルフアモイルフエユル) - 2 - フエニルイ ミノ - 4 - チアゾリン (8.9. 1900)。

疾始例 352

ルヌルフアモイルフェロル) - 2 - フェニルイ ミノ - 4 - チアゾリン (m.p. 201に(分集))。 実施例 357

4 - (3 - クロロ - 5 - ジメテルスルフアモイルフエニル) - 2 - (2 - クロロフエニルイミノ) - 3 - メテル - 4 - チアブリン(n.p. 165℃)

実施例 558

5 - メナル・4 - (2 - メナル・5 - スルフ アモイルフエニル) - 2 - フエニルイミノ・4 - ナアゾリン (m.p. 188~191で)。

実施例 359

8 - メチル・4 - (5 - メチル - 5 - スルフ アモイルフエニル) - 2 - フエニルイモノ・4 - チアゾリン (p.p. 210~212で)。

賽箱例 560

4 - (2 - 9 m m - 5 - x / 2 7 E 1 / 7 Z

特間的56- 10180 (52) ルヌルフアモイルフエゴル) - 2 - フェニルイ ミノ-3-チアゾリン (n.p. 166で)。

美范例 553

4 - (2 - クロロ - 5 - ジメチルスルファモイルフエエル) - 5 - メチル - 2 - フエエルイミノ - 4 - チアゾリン (n.p. 197 t)。

実施例 554

4 - (5 - 0 = 0 - 5 - ジメテルスルファモ イルフェニル) - 5 - メテル - 2 - フェニルイ ミノ - 4 - テアゾリン (n.p. 167c)。

実施例 555

4 - (2 - クロロ・5 - ジメテルスルフTモイルフエニル) - 2 - (2 - クロロフエニルイモノ) - 3 - メテル・4 - チアプリン(n.p. 997t)。

実施併 556

ニル) - 3 - メテル - 2 - フェニルイミノ - 4 - チアゾリン (m.p. 198~200c)。

実施例 561

4 - (2 - プロモ - 5 - ジメテルスルプアモ イルフエニル) - 3 - メテル - 2 - フエニルイ ミノ - 4 - テアゾリン (n.p. 204 t)。

実務例 362

4 - (2 - プロモ・5 - ジメナルスルフブモ イルフエニル) - 5 - メナル・2 - (2 - クロ ロフエニルイミノ) - 4 - サブゾリン [m·p. 242c(分解))。

実旅例 565

4-(2-プロモ-5-ジメテルスルフアモ イルフエニル)-5-メテル・2-(2,4-ジ メテルフエニル・イミノ)-4-テアソリン [m.p. 260で(分解)]。

実施例 564

- & O 1 -

3 - エテル - 4 - (2 - プロモ - 5 - ジメチルスルフアモイルフエニル) - 2 - (2 - メテルフエニル - イミノ) - 4 - チアゾリン(n.p. 20 9~210で(分解))。

製施例 565

2 - (4 - メトキシフエエル - イミノ) - 3
- メチル - 4 - (2 - メテル - 5 - ジメテルス
ルフアモイルフエエル) - 4 - チアゾリン(ED).
186~189℃)。

実施例 566

5 - エテル・4 - (5 ~ メテル・5 - ジメナルスルファモイルフエニル) - 2 - (2 - メテルフエニルイミノ) - 4 - テアゾリン(B.p. 155t)。

奥越例 5.67

2 - (4 - クロロフエエル・イミノ) ~ 5 -メナル - 4 - (3 - メナル - 5 - スルフアモイ

-202-

3-エチル-4-(2-クロロ-5-ジメナルスルフアモイルフエニル)-2-フエニルイ ミノ-4-チアゾリン臭化水素酸塩 En.p. 175 で(分解)]。

実施例 571

4 - (2 - クロロ - 5 - ジメナルスルフアモイルフエニル) - 2 - (2 - タロロフエエルイ
オノ) - 5 - メテル - 4 - ナアゾリン臭化水果 酸塩 (m.p. 227 c (分解))。

契 施例 5 7 2 4 - (2 - クロロ・ 5 - ジメテル スルフサモイルフエニル) - 5 -メテル - 2 - フエニルイミノ - 4 - ナアゾリン

上記の表面化合物は実施例 2 8 4 b) K 配収され たようにして、グータロロー 5 - ジメテルスル ファモイルアセトフエノン - 2 - チオールを ニメテル - ピーフエニル - クロロホルムアミジ 技権服36- 1018053) ルフエエル) - 4.- テアゾリン(mp. 195でデ

要施例 (w) 化配散されたようにして欠 (化 だし式中、エは臭素を意味し、そして2は kg 気? を意味する) の対応する置接されたケトンから つぎの実施例に配散された吹) のチアプリンが 得られる。

突 施 例 568

4-(2-タロロ-5-ジメテルスルファモイルフェニル)-3-メテル-2-フェニルイセノ-4-テアゾリン具化水米酸塩(n.p. 247C(分無))。

突热例 569

4 ~ (5 ~ タロロ ~ 5 ~ ジメテルスルフアモイルフエエル) ~ 5 ~ ½ テル ~ 2 ~ フエエルイセノ ~ 4 ~ チアゾリン臭化水素酸塩 [n.p. 234 c (分解)]。

実施例 570

-- £ 0 3-

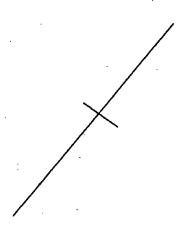
ン復取抜と反応させることにより得られる(m.p. 195~197で)。

上記で使用された ジ・クロロ・ 5 ・ジメチル スルフアモイルアセトフエノン・ 2 ・チオール は 2 ・アセチルチオ・ ジ・クロロ・ 5 ・ジメチ ルスルフアモイルアセトフエノンを協議で保護 低体としてのアルゴン気流中で 5 が 性カセイ ソーダ痔散を用いてアルカリ加水分解すること により装食色の約晶性粉束として得られる。

上記の2 - アセテルチオ・2'-クロロ・ドージメチルスルフアモイルアセトフエノンは2 ・プロモ・2'-タロロ・ボージメチルスルフアモイルアセトフエノンを水砂化カリウムで中和されたチオ酢酸とエタノール中で反応させることにより得られる。反応後その反応混合物を水に注ぎ、酢酸エステルで抽出し、有機相を硬酸マダネンウム上で乾燥し、そしそ軽減を蒸発させ

-905-

るととにより得られた表質物をイソプロペノール(活性次)から再結晶する(m.p. 84~88で、 実施例 1 5 5 と同様にしてさらにつぎの表 4 a) に記載された式 V の化合物が得られる。



-206-

				*	B 4					
	943 433	₩.		10E			本様は	御後 歩 T の位置なそれなど だっぱん しょう	44	
:	でたがられてか	,	K	*	の世間をア		表 10	و د د	•	•
全	ĸ	# #	*	# #	es es	*	m'	*	1	n.p.d.
373	;	-	ber	=	=	â	:	2-Ke	HBr	192
374	*	,⊯	Ħ	txt	æ	ŝ	å	3-No	KBr	202
375	*	70-7		m .	Ħ	â	*	2~Xe	HBT	228
376	.	0•X-7		121	×	*	3	3-K	HB1	157
377	ä	4-1P rop		×	m	*	*	3-Ke	HBr	219
578	*	70-4	==	Ħ	ш	å	Ř	3-Ke	BBr	212
379	*	4-7	522	æ	Ħ	ä	ŝ	2-X0	RBr	220
380	ä	2-40	×	Ħ	ш	.	å	2-X6	EBT	225
3.8	Ř	4-4	Ħ	Ħ	#	å	ż	3-X+	HBL	217
582	Ř	2-#0	æ	Œ	×	â	Ķ	9 - K	BBr	20.8
80	ŝ	70-2	ø	Ħ	tz	*	ŝ	2-07	HBr	184
384	ŝ	7-07	¤	æ	Ħ	2	9	3-04	HBr	237
3.85	*	4-KeO	17 1	æ	m	å	å	3-0.8	HBr	225
386	Ä	æ	×	Ħ	ps.	*	å	3-08	BBT	202
587	*	ø	Ħ	##	×	×	æ	2-Ke	EBT	208
388	*	70-2	Ħ	ø	55	P2	œ	2-W•	BBr	180
38.89	*	ps.	m	102	pri	Ħ	[22]	⊕ X - E	HBr	280
390	Ř	70-7	Ħ	×	Ħ	#	m	₩-W	HBr	160
391	ä	4-1Prop	Œ	tat	m	×	鮶	3-M•	BBr	254
592	K	4-0Me	Œ	ns .	'n	æ	DES	2-No	E	184
3.9.3		4-0Me	Ħ	5 41	· 🛱	÷	÷	70-2	HBT	171
594	*	0 7 -7	Ħ	Ħ	m	*	ķ	2-07	HBr	197

突起例 番号	R1	R 2	R S	R 4	R 5	<u>n 4</u>	R'	<u> </u>	HA	m.p. (C)
395	и.	В	В	B	R	H	H	2-04	HBr	271
596	Me	2-04	Ħ	R	H	B	Ħ	2-c.£	RBr	254
897	Bt .	Ħ	R	H	H	Ħ	H	2-04	BBr	210
598	Me.	5-0P8	Ħ	8	B	B	H	2-04	BBr	268
599	M+	4-0Me	H	B	H	Ħ	H	2-0£	HBr	168
400	Me	я	R	B	H	Ħ.	Mo	2-01	HBr	268
401	Me	2-0£	Ħ	Ħ	Ħ	Ħ	Mo	2-02	HBr	190
402	Rt	R	Ħ	Ħ	H ·	H	M o	2-02	HBr	256
403	Mo	3-078	Ħ	ĸ	Ħ	H	¥.	2-0£	HBr	208
404	¥.	4-0Me	B	Ħ	Ħ	Ħ	Me	2-0L	BBr	200
405	Mo	Ħ	Ħ	B	B	×.	Me	2-Br	BBr	239
4,0 6	Ma	2-04	Ħ	Ħ	B	Me	Me	2-Br	HBr	195
407	Mo	2-Me	4-16e	H	B	ו	Мe	2-Br	BBr	205
408	Et	2-40	H	Ħ	н	M e	Me	2-Br	BBr	188

式』の化合物の製剤

製造される。

2 - プロモ - ジーメデル - ジースルファモイル アセトフエノンの製造

即取エステル70mm が・メテル・5・スルファモイルアセトフェノン 5 9 (0.0 2 3 4 モル) の懸摘物に即康エステル 5 0 mm 中央第 3 7 9 (0.0 2 9 4 モル) の情報的 5 mm を 摘加し、そして臭素の色がただちに情えるまで的 4.0 でに加値する。 つぎに重価で提押下に残りの臭素 存在を急速に施加し、つぎに存集を質安する。 結晶(a.p. 188~191で、インプロペノールから)。 同様の方法でつぎのプロモアセトフェノンが

2.2 - ジプロモ - 5' - ジメテルスルフアモイル - アセトフエノン (m.p. 88t)。

2 - ブロモ・ガータロロ・ 5'・ジメテルスル ファモイル - アセトフエノン (m.p. 7.7~7 8 t.)。 2 - プロモ - 2' - タロロ - 5' - メチルスルフ アモイル - アセトフエノン (m.p. 99~101℃)。 2 - プロモ - 2' - タロロ - 5' - ジメチルスル フサモイル - アセトフエノン (m.p. 87~88℃)。 2 - プロモ - 2' - タロロ - 5' - スルフアモイ ルアセトフエノン (m.p. 152~154℃)。

2 - ブロモ・ 3'- メチル・ 5'- ジメチルスルファモイルアセト-フェノン (m.p. 71~75℃)。
2 - ブロモ・ 2'- メチル・ 5'- ジメチルスルファモイルアセトフエノン (m.p. 69~71℃)。
2 - ブロモ・ 2'- メチル・ 5'- スルファモイルアセトフエノン (m.p. 112~115℃)。
2'- メチル・ 5'- スルファモイルアセトフエノンの報告

無水アルコール 2 5 g (Q 0 4 5 モル) 中マグ ネシウム海片 2 7 g (Q 1 1 モル) の船標物に四 塩化炭素 Q 2 5 mtを加えるとその医皮は 4 0 でに

0 9 —

-- % 1 C-

上昇する。つぎに(無水)エメノールフェニチ・ ` 徐々に病加する。 勝するまで加強し、そして マロン微ジエナルエステル 17.6ま(Q11モル)。 無水エチノール10㎡(0.17モル)かよびジェ テルエーテル 125㎡から取る搭散を少量加える。 反応開始後との混合物が外部から加熱せずに移 舞し続けるようにその密板の表りを検加する。 つぎにさらに3時間加熱激化するとマグネシウ ムは唇解する。俳諧を保持したがら酢酸エステ ル 100㎡中2~メテル・5・スルファモイルベ ンゾイルクロリド 1 1.6 f (Q 0 5モル) の部款を 簡加し、そしてさらに 2 時間遺死冷却器を付じ て煮沸する。協議まで冷却したのちとの反応復 合物を機能散158、水200㎡かよび酢酸エス テル308世の混合物に住ぎ、熱出し、有機相を 分離し、そして水相を酢酸エステルとともださ られ 2 回扱装する。 硫酸マグネシウム上で乾辣

-211-

2'~ メチル - 5'- ジメチルスルフアモイル・ アセトフエノン (n.p. 54~56t)。

5'- メテル ~ 5'- スルフアモイル - アセトフエノン (m.p. 165~168 t)。

8' - メチル - 5'-ジメチルスルフアモイル -アセトフエノン (m.p. 106~109で)。

2'- 9 ロロー 5'- スルフアモイルアセトフエ ノン (m.p. 114~116亡)。

2'-クロロ - 5'-ジメチルスルフアモイル -アセトフエノン (m.p. 79で)。

2'- 9 ロロ - 5'- メテルスルファモイル・アセトフエノン (n.p. 74~75t)。

·3'- クロロ - 8'- ジメチルスルフアモイルー アセトフエノン (m.p. 100~102で)。

2'- プロモ - 5'- ジメナルスルフアモイル・ アセトフエノン (n.p. 97~99で)。 3 - スルフアモイルペンゾイルクロリド

- - 213-

特開船56-10180(56)

し、複数を製金し、そしてさらに対数操作を行 なうことなく抽状飛音物(2'-メテル-5'-ス ルファモイルベンゾイル・マロン酸ジェテルエ ステル)をさらに印度する。

植状物として得られた 2'-メチル・5'-スルファモイルベンゾイルマロン酸エステルを110 でまで像々に加強するが、その扱約80でで85 が無限18 単を検加し始める。 二酸化炭素の発生が終了するまで加強し、そして110でで66 に中時間加熱する。冷袋水約200 mtを加え、酢酸エステルで数回抽出し、合した有機相を水洗し、硫酸マグネンウム上で乾燥し、溶媒を除去し、残留物をジイソプロピルエーテルで処理し、そして結晶を炉別する。結晶(m.p. 115~117 で)

簡様の方法でつぎのスルフアモイルアセトフェノンが製造される。

-418-

上記の表題化合物は対応するスルファモイル 安息香酸誘導体を約 1 5~2 0 倍過剰のチオニル クロリド中で塩化水素の発生が終了するまで最 使し、つぎにチオニルクロリドを製金することに より得られる。

との方法でつぎの化合物が製造される。

2 - メチル - 5 - ヌルフナモイルベンゾイル クロリド (m.p. 160~161℃)。

2 - メチル - 5 - ジメチルスルフアモイルベ ンゾイルタロリド (m.p. 84~89℃)。

3 - メチル - 5 - スルファモイルベンソイル タロリド(m.p. 152~155℃)。

8 - メチル - 5 - ジメチルスルフアモイルベ ンゾイルクロリド (m.p. 72で)。

2 - クロロ - 5 - メルフアモイルベンゾイル クロリド (m.p. 114~116℃)。

2-クロロ・5-ジメナルスルフプモイルベ

-214-

ングイルクロリド (m.p. 79で)。

2 - クロロ・5 - メチルズルファモイルベン ゾイルクロリド (B.p. 74~75t)。

3 - クロロ - 5 - ジメチルスルファモイルベ ンゾイルクロリド (m.p. 74~76で)。

2 - プロモ・5 - ジメチルスルフアモイルベ ンゾイルクロリド。

スルフアモイル安息香酸

上記の表現化合物は対応するクロロスルホニル安息音歌を少なくとも3モルのアミンBBR4R7を含有するエタノール性器板に電温で加えるととにより得られる。

2 - ブロモ・5 - ジメナルスルフアモイル安 息香酸 (m.p. 174~176℃)。

8 · タロロー 5 · ソメテルスルフアモイル安 息舌散 (m.p. 155~156で)。

3-メナル・5-スルフアモイル安息書歌

-815-

特別昭56- 10180 (57)

(m.p. 258~262C).

8 - メテル - 5 - ジメテルスルファモイル安 息香粮(m.p. 157~162℃)。

2 - メナル - 5 - ヌルフアモイル安息香酸 (m.p. 247~251℃)。

2 - メチル~ 5 - ジメチルスルファモイル安 息谷酸 (p.p. 175~175℃)。

2 - タロロ - 5 - ジメテルスルファモイル安息告款 (m.p. 170で)。

2 - タロロ - 5 - メチルスルフアモイル安息 哲酸 (m.p. 174t)。

対応するクロロスルホニル安息香酸はそれ自体既知の方法で安息香酸をクロロスルホン酸とともに 120~165でに加熱し、つぎにその冷却された反応傷合物を水・水の混合物に簡加して分解することにより得られる。

2 - メナル・5 - クロロスルホニル安息管理

(m.p. 151~155°).

3 - デテル - 5 - タロロスルホニル安息看駅 (m.p. 176~180で)。

5 - クロロ - 5 - クロロスルホニル安息音像。 2 - ブロモ - 5 - クロロスルホニル安息音像。

表 5

文幹原知の方法(たとえば Hauben Tey1氏書 「Methoden der organischen Chemie J第9巻 家 8 8 4 頁第 4 版、George Thiem社発行、ジェタ フトガルト、1955年を参照されたい)により 製造された数複のテオ隊業員が示される。

R1	R 2	R#	R4	28.p. (C)
Мо	2-04	4-02	5-Ma	152
Неж	Ħ	n	н	77
e-Pro	рН	Ħ	8	124
H.	-0-0H2-	0-	H	133
¥e	-o-(cH	2)2-0-	Ħ	173
Mo	3-11Me 2	я	Я	135
Мe	4-0F5	В	Ħ	145
Χø	5-MeO	4-Ms0	5-Me 0	167

в.р. (С) R³ 74 2-Me0 2-Et0 5-Me Ħ 1 1 1 2-Ma0 4-Ka 1 3 5 S-Ma 2-04 146 4-F Me 2-Mo 4-¥0 153 Ma 2-Ma 4-04 127 Et 2 - Ma Ħ 6 6

特許出顧人 ヘキスト・アクチーエンゲゼル シヤフト

代重人 弁理士山 下 白 🦠

特朗 昭56-10180 (58)

第1頁の続き

0

⑦発明者 ベルンハルト・ゾイリング 西ドイツ国フランクフルトアム マイン・ヨハネス・アレー20番

の発 明 者 エルノルト・グランツアー
西ドイツ国ケルクハイムアムタ
ウヌス・フアルケン・シュタイ
ナーシュトラーセ24番